コロンビア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	141,290	137	35,716	22	38,771	19	46,130	23	59,051	36	69,297	38	67,528	34	457,783	309
専門家	82,565	20	7,771	5	14,333	11	41,648	12	32,922	4	17,670	5	44,222	7	241,131	64
調査団	108,246	44	48,601	13	29,558	7	60,174	16	348,002	48	536,373	60	367,855	57	1,498,809	245
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	9,038		13		29,593		3,276		27,228		14,814		50,651		134,613	
その他	2,111		1,878		2,230		3,711		7,872		10,667		8,554		37,023	
合計	343,250		93,979		114,485		154,939		475,075		648,821		538,810		2,369,359	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	309	9	14	3	33	17	68	20	3	7	17	10	13	29	25		5		34	1	1	457,783
専門家	64		1	6	4	6	4	2		1	11	3	13	3	6				4			241,131
調査団	245				13	83		7		5	30	48	6	47					6			1,498,809
協力隊																						—
機材供与																						134,613
その他																						37,023
合計																						2,369,359

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2										1			1								
36 〃	1	1																				
37 〃	4					1	2				1											5,956
38 〃	4					1	1	2														
39 〃	(1) 6				(1) 2	2	1							1								3,801
40 〃	5				1	2	1							1								3,682
41 〃	7		2		1	1	2							1								4,791
42 〃	(2) 5		(1)		1		2			(1)	1			1								4,141
43 〃	8	1			2		1				1			2	1							6,548
44 〃	11				2		6		1					1	1							7,796
45 〃	(1)14				(1) 2		4	2		1	1	1		1	1				1			12,550
46 〃	14				3		4			1	1	1		3					1			15,681
47 〃	14	1			2		7				1		1	1					1			16,197
48 〃	17				5		3	2			1		2	1	1		1				1	24,262
49 〃	12		1		2	1	3				1			1	1				2			16,608
50 〃	13	2		1	1		2	2			1	1		2	1							19,277
51 〃	22	1	2				8	1		2	1		1	2	3		1					35,716
52 〃	19						2	4	1	1	1	3	1	1	4				1			38,771
53 〃	(4)23		1		2		(4) 4	4	1				2	1	4				4			46,130
54 〃	36	1			4	1	6	1		2			1	5	4		1		10			59,051
55 〃	38	2	4			6	6	1			3	1	1		3		2		9			69,297
56 〃	34		4	2	3	2	3	1			2	3	4	3	1				5	1		67,528
合計	(8)309	9	(1)14	3	(2)33	17	(4)68	20	3	(1) 7	17	10	13	29	25		5		34	1	1	457,783

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
40年度	3				3																	4,074
41 〃	1				1																	2,471
42 〃	6					4	2															10,746
43 〃																						16,588
44 〃	3													3								14,994
45 〃																						633
46 〃	2					2																2,274
47 〃	2							2														2,326
48 〃	2						2															2,688
49 〃																						16,289
50 〃	2												1		1							17,676
51 〃	(1) 4														(1) 4							6,529
52 〃	11		1								3	2	5									16,208
53 〃	10									1	3		6									40,359
54 〃	3										2	1										34,996
55 〃	5										3		1		1							17,820
56 〃	6			6																		43,398
合計	(1) 60		1	6	4	6	4	2		1	11	3	13	3	(1) 6							250,069

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	消化器がん対策機材	国立がん研究所	52	5,136
2	マイクロウェーブ・キャリア・システム	電信電話公社	52	21,028
3	地質調査機材	国立地質学研究所	54	19,738
4	放射線薬学用機材	国立原子力研究所	56	37,577
計	4件			83,479

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
中央医学研究所 協定等の種類： 署名年月日： 協力期間： （当初）	コロンビア国では，結核等伝染病による死亡率が顕著である。このため，免疫学的研究分野の充実および各種予防ワクチンの製造・検定・品質管理技術の向上を図りたいとしてわが国の協力を要請してきた。 この要請に対し，わが国は事前調査団を派遣し，協力の可能性・妥当性につき検討を行った。	56	事前調査	57.1.23～57.2.5	4	3,510						3,510

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
早期がん診断	中南米一般を参照のこと。 （アルゼンティン，ブラジル，チリ，コロンビア，ペルー）	47						(4)	(910)			(910)
胃がん治療	中南米一般を参照のこと。 （コロンビア，ドミニカ共和国）	50						(2)	(844)			(844)
消化器内科	中南米一般を参照のこと。 （コロンビア，エクアドル）	51						(2)	(1,255)			(1,255)
		52							(137)			(137)
胃内視鏡学		53						2	1,454		(携)3,111	4,565
		54					2		751			751
微生物学		54						1	794			794
		55							4			4
外科学		56						1	824		(携) 29	853

保健医療協力事業（特別機材）

コロンビア

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
バーリェ大学		56									3,994	3,994

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
農林水産業協力における人材養成システムに関する調査	（フィリピン，タイ，コロンビア，コスタ・リカ，メキシコ） 世界一般を参照のこと。	55	基礎調査	56.3.2～56.3.21	(4)	(2,796)						(2,796)
家畜衛生計画基準作成調査	（インドネシア，マレイシア，タイ，フィリピン，ケニア，メキシコ，コスタ・リカ，コロンビア） 世界一般を参照のこと。	56	基礎調査	57.3.30～57.4.23	(8)	(1,578)						(1,578)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	アンデス・グループ多国籍海運基礎調査	中南米一般を参照のこと。（チリ，エクアドル，コロンビア）	47	実施調査	47.11.21～47.12.22	(3)	(4,424)
2	プロジェクト選定確認調査	（コロンビア，ニカラグア，パナマ，ヴェネズエラ） 中南米一般を参照のこと。	50	事前調査	51．2.25～51．3.18	(2)	(813)
3	橋梁調査	同国は山岳河川が多く国内輸送が困難であり，橋梁建設を伴う道路網の整備が急がれている。そこで同国の橋梁架設計画の全般的調査。	37	技	37.11.30～38．1.27	5	5,362

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
4	森林造成事業開発調査	カウカ谷地域を対象とする針葉樹造林の可能性に関する調査。	51	事前調査	52. 1.21～52. 2. 6	5	5,069
		コロンビアの森林は年々伐採が行われているが，伐採跡地の造林は，小面積でしか実施されていないため，森林資源の保持・培養，国土の保全等の観点から伐採地における森林造成が急務とされている。					
5	水産資源調査	昭和５２年１２月，コロンビア政府から要請のあった同国領海内大陸棚及び同斜面に棲息する底棲魚類，深海エビ及び浮魚類の資源調査に関し，事前調査を昭和５２年２月中旬から３月初旬まで実施した。	52	事前調査	53. 2.13～53. 3. 5	6	6,593
			53	実施（海上）	53. 6.24～53. 7. 3	2	13,500
			〃	実施（海上）	53.12.13～53.12.24	2	
		昭和５３年度は，昭和５２年度に実施した事前調査に引き続き，６月および１２月に第１次および第２次協力計画協議チームを派遣し，コロンビア計画省との間で協力計画を作成した。	〃	実施（陸上）		0	1,866
			54	実施（海上）	54. 4.23～55. 3.21	2	132,347
			〃	実施（海上）	55. 1.14～55. 1.29	3	
		昭和５４年度は，太平洋岸および大西洋岸について底魚，深海エビ，浮魚等の資源調査（海上調査）を行った。	55	実施（海上）	（報告書作成）	0	190
			〃	実施（海上）	55. 5.10～56. 3.20	2	141,006
		昭和５５年度は大西洋岸の底魚，深海エビ，浅海エビ，浮魚等の資源調査（海上調査）を実施した。同調査は昭和５４年度と５５年度で終了し，５６年度は報告書を作成し同国政府に提出した。	〃	実施（海上）	55.10.21～55.11. 1	4	
			56	実施（海上）	（報告書作成）	0	15,421
6	ベナベンツラ～ボゴタ間道路計画調査	コロンビア国の主要港ベナベンツラと第３の都市カリ，首都ボゴタを結ぶ道路は同国の東西を結ぶ主要幹線として極めて重要な役割を果たしているが，標高3,000ｍを越えるアンデスの３分脈を横断する地形的制約等から，現状には幅員・構造等に問題が多く，今後の交通量増大を考慮すると早急な対策が必要とされる。中でも早急に解決策策定の必要のあるカリ～ボゴタ間山越え，カリ市周辺バイパス道路，ベナベンツラ港長大橋等の改修等の道路改修に関するＦ／Ｓ実施の要請があったもので，昭和５３年度は今後の協力方針を検討するために必要事項を調査することを目的とした事前調査を実施した。	53	事前調査	54. 2.10～54. 2.25	5	6,365
			54	実施調査	54. 7.10～54. 8.31	9	105,924
			〃	実施調査	55. 1. 5～55. 3.15	13	
			55	実施調査	（報告書作成）	0	25,035
			〃	実施調査	55. 6. 1～55.11.23	8	178,387
			〃	実施調査	55. 8.15～55.11.23	9	
			〃	実施調査	55.10.20～55.11. 2	2	
		昭和５４年度は，合意されたＳ／Ｗに沿って山越区間未図化部分の船測図化作業と現道の主要改良箇所および新路線の概定を行った。	56	実施調査	56. 6.19～56. 6.28	5	58,488
			〃	実施調査	56. 9. 5～56. 9.14	3	
			〃	実施調査	57. 1. 9～57. 1.18	5	
		昭和５５年度は，現道改良案のＦ／Ｓ検討を実施し，中間報告書を同国政府に提出した。					

コロンビア

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		昭和５６年度は，新道建設計画について，比較代替案の選定および最適路線の選定と概略設計等の調査を実施した。					
7	オリノコ河流域総合交通計画調査	コロンビア国で最も開発の遅れている東部平原地域（面積約２５K㎡，国土全体の２２％）の開発の障害となっているオリノコ河流域の交通体系を整備し，同地域の牧畜，農産品の船舶輸送の拡充，賦存の確認されている石油，石炭，岩塩などの鉱産物の開発を進めるべく協力要請のあったもの。昭和５４年度は事前調査団を派遣して要請内容の聴取，現地踏査を行い，今後のわが国の協力方針を策定した。	54	事前調査	54.12. 8～54.12.22	5	4,624
8	トル沿岸漁業育成および漁業訓練センター拡充計画調査	コロンビア国政府は，同国におけるトルー沿岸漁業育成計画および漁業訓練センター拡充計画を推進するため，わが国に対し無償資金協力を要請してきた。これに対し，昭和５４年度は，基本設計調査団を派遣し，同国関係機関と協議を行い，必要な資料を収集した。	54	特	54. 7.23～54. 8.12	6	13,522
9	シモン・ボリバール公園造成計画調査	コロンビア解放の士「シモン・ボリバール」の生誕200年を記念し，首都ボゴタに建設予定のシモン・ボリバール公園の中心部約110haのマスター・プランを作成するものである。	55	事前調査	55. 6. 7～55. 6.26	5	4,517
			〃	実施調査	55.10. 1～55.12.20	10	72,398
			〃	実施調査	56. 3. 1～56. 3.31	5	
		昭和５６年度は昨年度に事前調査団および本格調査団を派遣し実施した調査結果に基づいて敷地造成計画，緑化修景計画，レクリェーション施設，構築物配置計画および最終報告書を作成した。	56	実施調査	56. 7. 1～56. 8. 4	7	65,387
10	沿岸漁業育成計画調査	トルー地区およびアルボレテス地区の沿岸漁業育成に必要な製氷機・漁船等の機材供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56.10. 3～56.10.19	6	14,580

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱物資源調査	（アルゼンティン，コロンビア） 中南米一般を参照のこと。	39	海	39.10.15～40. 3. 3	(7)	(6,948)

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
2	中小規模工業経済協力調査	（チリ，コロンビア） 中南米一般を参照のこと。	43	海	43.11. 2～43.11.30	(6)	(3,325)
3	鉱工業プロジェクト選定確認調査	（ブラジル，チリ，コロンビア，パラグァイ） 中南米一般を参照のこと。	49	海	50. 2. 3～50. 2.23	(2)	(632)
4	鉱物資源開発計画調査	３９年度に実施した事前調査（アルゼンティン，コロンビア）の結果にもとづき，今回は，銅鉱に絞り２０カ所の鉱帯を調査。 北部マグダレナ，ガイラ地方のエル・リコン鉱床は露頭として見込みあり，探鉱の必要がある。	40	海	41. 1.31～41. 3.16	6	6,809
			41	海		0	1,678
5	パティア河電源開発計画調査	同国南西部ナリンヨ県を流れるパティア河の水力発電計画（５０万Km）についての調査。	41	海	41. 8.10～41. 9. 4	1	8,047
			〃	海	42. 1.16～42. 3.31	5	
			42	海		0	2,230
6	カウカ河ティンバ水力開発計画調査	カウカ河のサルバヒーナ地点における多目的ダム建設のためのフィジビリティー調査。	44	海	44. 6.21～44. 8. 9	6	15,877
			〃	海	45. 3.17～45. 3.31	1	
7	カウカ河フルミート地区水力発電計画調査	① 第１次調査 同河最上流フルミート地点における水力発電ダム建設のためのフィージビリティー調査。	46	海	47. 2. 8～47. 3.23	6	10,773
			47	海	47. 9.24～47.10. 8	1	17,450
		② 第２次調査 ４６年度から４７年度に実施した本件フィージビリティー調査報告書によれば，フルミート水力発電計画は，技術的にも経済的にも実施可能な計画とされ，その運転開始時期は1981年末とするよう勧告している。ところが1973年には石油危機が起こり，これを契機とした急激な物価上昇および諸般の社会情勢の変化のために，コロンビア側が実施しようとしていたフィージビリティー調査後の諸段階に遅れを生じてしまい，6年間経過してしまった。しかし，同国の電力需要から見ると運用時期は迫っているので，同国政府は1972年の調査レポートの見直し，および実施設計直前に至るまでの諸データの収集，整備を至急調査案件としての要請があったので，実地調査を行った。	53	海	54. 2.13～54. 3.14	7	36,486
			54	海	54. 4. 1～54. 9. 9	4	60,219
			〃	海（報告）	54. 9.29～54.10.13	2	

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
8	石炭開発計画調査	① 第1次調査	50	海	51. 2. 7～51. 3.28	7	24,039
		コロンビア国動力鉱山省が計画している北部地区における石炭開発計画に関し，3地域程度を対象に開発の可能性を検討するとともに有望地域の選定を行い，将来の調査計画策定のために現地調査を実施した。	51	海	51. 9. 7～51. 9.20	1	20,657
		② 第2次調査	51	海	52. 2. 5～52. 3.21	7	22,875
		・カウカ河渓地域石炭開発計画調査	52	海	52.10. 3～52.10.16	1	20,446
		既開発区域については，採掘上の技術的問題点，採掘法の改正，炭層賦存状況の確認等，また未採掘地域については，現地調査を実施し，有望地区を選定し，今後の探査計画（ボーリングを含む）を策定した。52年度は，51年度に実施した現地調査にもとづき，報告書を作成し，現地説明を行った。					
9	鉱物資源開発計画調査	コロンビア国において本格的な鉱物資源探査を実施するためにその候補地域としてあげられている①A Cand，②Cerro Pantanos，③Rovira—Chapa—rral，④Piedrancha の4地域の中から最も有望な地域を選定し，今後の資源開発の可能性を検討するとともにその探鉱方針を策定するもの。	54	海	54. 9. 8～54.10.19	5	29,969
10	電力開発計画調査	アトラート河，テレンビー川の水力発電開発と地熱開発に関する要請の背景，内容等の把握を目的とするもので，55年度は現地調査と収集資料に基づき検討を行い，最終報告書を作成した。	55	海（事前）	55. 5.25～55. 6. 1	3	2,350
11	アトラート河水力発電開発計画調査	太平洋に注ぐサンファン川と大西洋に注ぐアトラート川に貯水池を設け，両サイトを結ぼうとするチョコー開発の一翼をなすもので，設備出力1,220 MW，年間出力5,678 GWh の水力発電計画である。	55	海（事前）	56. 2. 2～56. 2.27	5	15,393
			56	海	56. 7. 5～56. 7.25	7	56,775
			〃	海	56.10. 7～56.10.21		
		昭和55年度のS／W協議に引続き，昭和56年度は，アトラート河上流部における電力開発計画のマスタープランを策定し，その結果を取りまとめるとともに，第二次調査（F/S）の対象地点を決定するための6地点について，地形，地質，気象条件，流量解析，洪水量の推定，発生電力量の算定，概算工事費の積算，経済性判断の調査を行った。	〃	海（報告）	57. 2. 1～57. 2.15	1	
12	海水淡水化計画調査	コロンビア国サン・アンドレス島に3,000㎥/日の海水淡水化プラントを設置する計画に関するF／S調査。56年度は，①要請の背景，具体的内容の把握 ②関連サイトの実情把握 ③関連情報の収集を行うとともに本格調査の範囲を確定するS／W協議を行い合意署名した。	56	海（事前）	57. 2.15～57. 3. 1	6	10,410

資源開発協力基礎調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ピエドランチャ地区資源開発調査	ピエドランチャ地域において地質調査，地化学探査，物理探査，ボーリングを実施するものであり，初年度は1,000K㎡の地質・地化学概査を実施した。 昭和56年度は，La Verde，Rio Blanco地区において地質調査（精査）によってポーフィリー型銅鉱床の賦存を示す変質帯を把握した。Diamante地区においては地質調査（精査），ボーリングによって含金石英脈，金，銀，鉛，亜鉛を主とする多金属型鉱脈を多数確認した。	55	資	55. 6.15～55. 6.28	13	102,033
			〃	資	55. 8.12～55.11. 4		
			〃	資	55.10.25～55.11. 4		
			56	資	56. 8.10～56.11.30	10	140,543
			〃	資	56. 9.14～57. 1.14		
			〃	資	56.11.18～57. 1.14		
			〃	資	57. 1. 7～57. 1.14		
2	鉱工業プロジェクトフォローアップ調査	（トルコ，モロッコ，アルゼンティン，チリ，フィリピン，コロンビア） 世界一般を参照のこと。	56	資	56. 5.30～56. 6.11	(13)	(1,429)
			〃	資	56. 7. 5～56. 7. 8		
			〃	資	56. 6.12～56. 6.27		
			〃	資	56.10.17～56.10.26		
			〃	資	56.11.24～56.12. 7		
			〃	資	56.12. 5～56.12.12		

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
農業開発協力事業	コロンビアは，国土面積114万K㎡（日本の約3倍）であるが，耕地面積は5万K㎡にすぎず，その開発は，同国経済の最重要課題となっており，わが国にも農業開発のための調査団派遣を要請してきた。本調査は，基礎調査としての位置づけから農業開発に係る基礎的な資料の収集を中心に，民間よる農業開発に対するコロンビア国政府の基本的考え方の把握，および，カリブ海沿岸地域の基盤整備地域の実態の把握等について調査を実施した。	50	開発基礎調査	50. 8.27～50. 9.27	7	11,259

〔無償資金協力〕

実施促進調査

コロンビア

番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	コロンビア・沿岸漁業振興計画，パラグァイ・農林業総合開発センター	中南米一般を参照のこと。（コロンビア，パラグァイ）	55	55．6．2～55．6.15	(2)	(881)

コスタ・リカ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	58,625	52	29,760	10	26,654	13	25,274	13	44,550	19	30,088	13	30,202	17	245,153	137
専門家	58,883	26	38,859	10	48,365	7	57,094	7	47,122	1	47,786	7	38,940	5	337,049	63
調査団	20,943	15	52,810	19	87,075	11	8,632	7	16,154	5	53,866	15	125,105	18	364,585	90
協力隊	14,367	5	19,028	2	35,423	9	35,017	4	59,682	10	59,596	5	63,094	13	286,207	48
機材供与	101,159		14,642		24,577		23,448		26,008		24,180		101,798		315,812	
その他	1,260		3,510		1,610		2,092		1,241		3,610		3,831		17,154	
合計	255,237		158,609		223,704		151,557		194,757		219,126		362,970		1,565,960	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	137	4	3	1	37	2	25	12	1	1	3		3	12	5				23	1	4	245,153
専門家	63				19	6		12						3			6		17			337,049
調査団	90	25			32			7				4		16			1		2		3	364,585
協力隊	48		2				1	7		1	3		3				8	4	2		17	286,207
機材供与																						315,812
その他																						17,154
合計																						1,565,960

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
38年度	(1) 2				(1)		1	1														
39 〃	1							1														534
40 〃																						
41 〃	3				1		2															1,391
42 〃	2							1			1											1,559
43 〃	3				1		1				1											2,543
44 〃	2				1		1															1,331
45 〃	3						1								2							1,885
46 〃	9				3		5														1	7,802
47 〃	6				1		3		1										1			7,287
48 〃	5				2														1		2	4,479
49 〃	7						1	2						1					3			10,173
50 〃	9				4			2											3			19,641
51 〃	10				2		3		1					2					3			29,760
52 〃	13	2			6		1							2	1				1			26,654
53 〃	13	2			4			2						1	1				3			25,274
54 〃	18		1		3		2				1			5	1				5			43,857
55 〃	13		1		4	1	1	1					1						2	1	1	28,801
56 〃	17		1	1	5	1	3	1		1			2	1					1			30,202
合計	(1)136	4	3	1	(1)37	2	25	11	1	1	3		3	12	5				23	1	4	243,173

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
41年度	3					2		1														
42 〃	2					2																
43	6				5	1																20,211
44 〃																						
45 〃																						
46 〃																						
47 〃																						
48 〃	7				3	1		3														10,314
49 〃	1				1																	12,932
50 〃	1				1																	12,552
51 〃	6				1			3						2								15,894
52 〃	7				3			2						1			1					33,586
53 〃	3				2												1					34,189
54 〃																						28,484
55 〃	4				3			1														34,008
56 〃	4																		4			36,548
合計	44				19	6		10						3			2		4			238,718

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
49年度	4																4					9,837
50 〃	1																				1	12,951
51 〃	2																				2	22,355
52 〃	9																1				8	39,120
53 〃	4		1								1										2	37,548
54 〃	10						1	2		1							1		2		3	62,599
55 〃	5		1					1					2								1	64,450
56 〃	13							4			2		1				2	4				68,594
合計	48		2				1	7		1	3		3				8	4	2		17	317,454

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	水産研究機材	農政省	44	2,529
2	港湾建設機材	公共事業運輸省	51	11,317
	（同上52年度支出分）		52	486
3	消化器検査用機材（胃カメラ，ガストロインテンショナルファイバー）	メキシコ病院	53	5,523
4	港湾建設機材	公共事業運輸省	54	14,489
5	体操関係機材	文化青年スポーツ省	55	12,454
6	地震観測用機材	コスタ・リカ大学	56	47,287
7*	電子顕微鏡用機材	コスタ・リカ大学	56	15,584
計	7件			109,669

* 第三国研修

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
コスタ・リカ大学医学部 University of Costa Rica, Faculty of Medicine 協定等の種類： R/D 署名年月日：48.11.2 協力期間： （当初） 48.11.2～51.3.31 （フォローアップ） 51.4.1～54.3.31 （フォローアップ） 54.4.1～56.3.31 相手国機関： 国内協力機関： 大阪大学微生物病研究所	コスタ・リカ政府は，同国唯一の総合大学であるコスタ・リカ大学医学部および附属研究所における熱帯病病原，寄生虫等の医学研究および，微生物学部・農学部の実験・研究のために電子顕微鏡の供与および操作技術・研究方法に対する協力をわが国に要請した。 これに対しわが国は，昭和48年10月に実施調査団を派遣し，コスタ・リカ政府関係者と協議した結果，同国の基礎医学の研究に必要な機材の供与と技術の伝播を組合せた形の協力を実施することで合意し，R／Dに署名した。 これにより昭和48年11月より3カ年間，プロジェクト方式による技術協力が行われ，透過型電子顕微鏡，走査型電子顕微鏡，分離用超遠心器等の機材供与，専門家の派遣，および研修員の受入れが実施された。 〔カウンターパート受入実績〕	48	実施調査	48.10.27～48.11.14	3	2,867	—	—		電子顕微鏡	27,726	30,593
		49					—	3	4,329		(機) 434 899	5,662
		50					—	3	5,942	高級生物顕微鏡，走査型電子顕微鏡	(機)2,195 51,929	60,066
		51	エバリュエーション	51.9.6～51.9.23	3	2,759	2	2	21,557			24,316
		52					2	—	15,304	電子顕微鏡，乾燥器	(機)1,390 18,880	35,574
		53					1	2	22,989		13,150	36,139
		54					2	—	26,547		89	26,636
		55				1	1	—	13,566		(機)2,356	15,923

〔カウンターパート受入実績〕

年度	48～54	55	56	
人数	20	0	0	

コスタ・リカ

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
小児科	第5回米州小児外科学会および第12回中央小児学会出席	51						1	820			820
外科	国際外科学会第9回西半球総会出席	51						1	820			820
内科学		53						1	1,047		(携) 560	1,607
小児外科		53						1	1,047		(携) 560	1,607
消化器内科学		54						1	920			920
神経内科		55						1	966			966
小児感染症		55						1	966			966
消化器内科	（ボリヴィア，パナマ，コスタ・リカ）中南米一般を参照のこと。	54						(1)	(529)			(529)
		55					(1)		(157)			(157)

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
メキシコ病院		56									13,050	13,050

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
農林水産業協力における人材養成システムに関する調査	（フィリピン，タイ，コロンビア，コスタリカ，メキシコ）世界一般を参照のこと。	55	基礎調査	56.3.2～56.3.21	(4)	(2,796)						(2,796)

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
家畜衛生計画基準作成調査	（インドネシア，マレイシア，タイ，フィリピン，ケニア，メキシコ，コスタ・リカ，コロンビア） 世界一般を参照のこと。	56	基礎調査	57.3.30～57.4.23	(8)	(1,578)						(1,578)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	メキシコ・コスタリカ港湾計画調査	（コスタ・リカ，メキシコ） 中南米一般を参照のこと。	46	事前調査	47. 1.25～47. 2.21	(4)	(1,997)
2	プンタレナス港建設計画調査	カルデラ港南岸に新港を建設する計画に関するフィージビリティ調査を行った。	47	実施調査	47.10.28～47.11.26	8	10,113
3	太平洋岸新港背後地総合開発調査	現在円借款により建設段階に入っているカルデラ南港建設計画との関連で，同港背後地を主体に既存のプンタレナス港を含めた総合開発計画を策定するための調査	50	事前調査	51. 2. 7～51. 2.21	4	5,839
			51	事前調査	51.10.30～51.12. 3	5	49,817
			〃	実施調査	52. 2.20～52. 3.28	11	
			52	実施調査	52. 8. 6～52. 8.15	4	26,596
4	カルデラ港建設計画調査	コスタ・リカ国政府は，太平洋岸に新港を建設すべくくわが国にF/Sの実施を要請越した。わが国はこれに対し昭和47年度プレタレナス港建設計画調査を実施し，カルデラ港南岸に新港を建設することを同国政府に勧告した。その後わが国は日本輸出入銀行ベースの借款を昭和48年度および昭和51年度に分けて，第1期工事計画の実施のための資金を供与した。この第1期工事のうち防波堤工事については，わが国専門家の技術指導等により，コスタ・リカ国運輸省直営工事として実施されたが，この間第1期工事の進行に伴いカルデラ海岸の地形に変化が生じた。とくに，顕在化した漂砂の問題につき適切な対策を立案するため昭和54年度に調査団を派遣した。 昭和56年度は前年度に引き続き設計施工について更に検討し，経済分析，財務分析を実施し，最終報告書の作成を行った。	54	実施調査	54.11.20～54.12.10	5	8,370
			55	実施調査	（報告書作成）	0	1,240
			〃	実施調査	56. 7. 7～56.10. 3	7	42,176
			〃	実施調査	56. 2. 4～56. 3.10	1	
			〃	実施調査	56. 3.30～56. 4.12	3	
			56	実施調査	（報告書作成）	0	58,405
			〃	実施調査	56. 8.12～56. 8.30	8	33,788

コスタ・リカ

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	レベンタソン及びパクアレ河流域水力発電開発計画調査	コスタ・リカ政府の要請にもとづき，同国大西洋岸の３つの河川（レベンタソン，パクアレ及びチリッポ河）流域における水力発電計画につき，同地域が発電所建設地として最適地であるかどうか，技術的，経済的観点から，調査を実施し，その結果を同国に報告した。	52	海	52. 8.15～52. 9.28	7	60,079
2	バハ・タラマンカ石炭開発計画調査	石油代替エネルギーの対策として，バハ・タラマンカ地区で発見された高品位石炭層の埋蔵量の確認，採掘後の利用（輸出，液化，国内消費等）に関するF／Sを行うもの。 昭和５５年度は同国の要請意図の確認と既存資料の検討，対象炭鉱開発地域の踏査を実施し，わが国の調査実施計画（案）を提示，協議し，S／Wを締結した。 昭和５６年度は以下の調査を実施した。①地形図（10,000分の１）の作成②地質調査。 なお，地形図作成のために使用した測量機器一式を相手側に供与した。	55	海（事前）	56. 2.20～56. 3.12	4	5,836
			56	海（事前）		0	411
			〃	海	56. 6.15～57. 3.26	9	40,683

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
サンホセ地区園芸栽培開発協力	本調査は，コスタ・リカ国サンホセ地区で，花卉，観葉植物等を中心とする園芸栽培開発事業について，民間が開発事業を行う具体的可能性を検討するため，開発適地の選定，開発の基本構想の策定，試験的事業の基本設計を行うものである。	53	基礎二次調査	54. 3.13～54. 3.28	7	6,079
		54		（同上報告書作成，技術費）	—	4,369

開発協力技術指導

その1. 研修員受入

研修科目	年度	人数	研修期間	研修場所	経費実績（千円）
カーネーションの栽培	54	1	55、3、29～55、6、20		693
〃	55				1,287

コスタ・リカ

その2. 専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績（千円）	技術指導内容
花卉栽培（カーネーション栽培）	55	1	56、2、1～57、1、31	3,614	
〃	56	(1)	（56、2、1～57、1、31）	} 11,610	
〃	56	1	57、1、20～58、2、28		

(注) カッコは継続派遣の専門家。

〔開発投融資〕

融資承諾年月	事業名	事業地	本邦事業者	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		グラント・エレメント（%）	備考
					金利(%)	返済期間(内据置年)	承諾額(百万円)	契約年月	契約額(百万円)	年度	実行額(百万円)		
54. 7.21	花卉栽培試験事業	サンホセ州サンタアナ		カーネーションのウイルス・フリー苗の培養と切花栽培	0.75	20(5)	295.6	54、9.10	186.9	54	186.9		
								55. 8.25	28.5	55	28.5		
								56、8.12	80.2	56	80.2		

キューバ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	19,860	13	7,591	4	1,438	1	7,445	3	—		4,725	2	6,026	3	47,085	26
専門家	—		—		—		—		—		—		—		—	
調査団	—		309		—		—		—		—		—		309	
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		—		—		—		—	
合計	19,860		7,900		1,438		7,445		—		4,725		6,026		47,394	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	26				1		3	2	5		2		4		1	3			4	1		47,085
専門家																						—
調査団																						309
協力隊																						—
機材供与																						—
その他																						—
合計																						47,394

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2										2											1,413
36 〃																						
37 〃																						
38 〃																						
39 〃																						
40 〃																						
41 〃																						
42 〃																						
43 〃																						
44 〃																						
45 〃	1														1							1,663
46 〃																						
47 〃	(2)				(2)																	360
48 〃	2												2									2,177
49 〃	3				1				1							1						2,729
50 〃	(3)5							2	2		(3)					1						11,518
51 〃	4						2		2													7,591
52 〃	(2)1						(2)													1		1,438
53 〃	3						1						1						1			7,445
54 〃																						
55 〃	2												1			1						4,725
56 〃	3																		3			6,026
合計	(7)26				(2)1		(2)3	2	5		(3)2		4		1	3			4	1		47,085

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

ドミニカ共和国

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	31,652	35	8,418	7	10,805	6	4,516	3	8,825	5	11,349	8	18,189	13	93,754	77
専門家	30,560	3	10,361	1	8,116	2	—		1,557	2	9,277	2	64,597	6	124,468	16
調査団	—		—		—		1,242		68,619	22	103,466	18	83,652	21	256,979	61
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	24,253		960		459		7,952		—		5,909		28,606		68,139	
その他	—		216		230		—		3,965		3,282		3,702		11,395	
合計	86,465		19,955		19,610		13,710		82,966		133,283		198,746		554,735	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	77		1		6	2	7	22	1				2	7	9	5	1		12	2		93,754
専門家	16					1	2	4					1		1		1		6			124,468
調査団	61							46						15								256,979
協力隊																						—
機材供与																						68,139
その他																						11,395
合計																						554,735

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政 開発計画	計画・行政 行政	公共・公益事業 公益事業	公共・公益事業 運輸交通	公共・公益事業 社会基盤	公共・公益事業 通信・放送	農林・水産 農業	農林・水産 畜産	農林・水産 林業	農林・水産 水産	鉱工業 鉱業	鉱工業 工業	エネルギー	商業・観光 商業・貿易	商業・観光 観光	人的資源 人的資源	人的資源 科学・文化	保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
39年度	1							1														679
40 〃	1													1								
41 〃																						
42 〃	1												1									
43 〃																						479
44 〃	(1) 1				1	(1)																964
45 〃	5				1			3					1									4,126
46 〃	4				1										1				2			3,500
47 〃	1				1																	1,406
48 〃	12							6						1	5							7,421
49 〃	6				2										1	2			1			7,282
50 〃	3															1			2			5,795
51 〃	7		1				1	1							1	1			2			8,418
52 〃	6						1	1						1	1				2			10,805
53 〃	3						1	1						1								4,516
54 〃	5					1								1		1			1	1		8,825
55 〃	8						2	2						2					1	1		11,349
56 〃	11					1	2	7											1			15,494
合計	(1)75		1		6	(1)2	7	22					2	7	9	5			12	2		91,059

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政 開発計画	計画・行政 行政	公共・公益事業 公益事業	公共・公益事業 運輸交通	公共・公益事業 社会基盤	公共・公益事業 通信・放送	農林・水産 農業	農林・水産 畜産	農林・水産 林業	農林・水産 水産	鉱工業 鉱業	鉱工業 工業	エネルギー	商業・観光 商業・貿易	商業・観光 観光	人的資源 人的資源	人的資源 科学・文化	保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
43年度	1							1														2,109
44 〃																						2,212
45 〃																						

ドミニカ共和国

分野 / 年度	合計（人数）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
46年度	1					1																3,220
47 〃																						4,421
48 〃	1							1														736
49 〃																						9,196
50 〃																						10,055
51 〃	1																1					11,321
52 〃																						6,254
53 〃																						
54 〃																						
55 〃	1														1							11,155
56 〃	5						2	2					1									71,686
合計	10					1	2	4					1		1		1					132,365

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	消化器疾病検診機材	サルバドル・ラガテア病院	46	2,873
	（同上47年度支出分）		47	67
2	農業機材	労働省職業訓練所	47	3,131
3	がん対策機材	国営DR. ルイス・E・アイバル病院	48	5,572
4	食品分析検査用機材	ドミニカ輸出促進センター	50	10,378
5	消化器検査機材（内視鏡）	国営DR. ルイス・E・アイバル病院	53	7,952
計	5 件			29,973

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
胃がん治療	（コロンビア，ドミニカ共和国）中南米一般を参照のこと。	50						(2)	(844)			(844)
消化器外科学	ドミニカ外科学会出席	52						1	1,862		(機) 459	2,321
外科学		54						2	1,557			1,557
消化器内視鏡		55						1	1,119		(機) 392	1,511
消化器内視鏡		56						1	895		(機) 758	1,653

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
中米農業協力プロジェクトファインディング調査	（ドミニカ共和国，ホンデュラス）中南米一般を参照のこと。	55	事前調査	55.8.30～55.9.20	(5)	(2,946)						(2,946)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	アグリポ（エルポソ）農業開発計画調査	同国政府が推進している入植計画の一環としてアグリポ地域の農業開発について協力の要請があった。その要請に基づき54年度に事前調査を行った。その結果により55年度に基礎的調査である実施1次，2次調査をエルポソ地区約1万haについて実施した。プロジェクト地区はエスパニオラ島の北東部のナグ	54	事前調査	54.10. 6～54.10.30	7	7,526
			〃	事施調査	55. 3.10～55. 4.14	6	24,797
			55	事前調査	（報告書作成）	0	472
			〃	事施調査	（報告書作成）	0	1,837

番号	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		ア川河口に広がる湿地を含む凹状の沖積地で，土壌は農地に適しているが，灌漑排水に問題がある。同農業開発は灌漑排水施設の整備により稲作栽培を拡大し，入植農民の定着と強化を図るものである。	55	事施調査	55．7.10～55．7.24	3	86,998
			〃	事施調査	55．8．3～55.10.16	6	
			〃	事施調査	55.11.18～56．1.16	4	
			〃	事施調査	56．1.31～56．2．9	3	
			〃	事施調査	56．3.24～56．5．2	1	
			56	事施調査	（報告書作成）	0	607
			〃	事施調査	56．7．1～56．8.24	12	74,416
			〃	事施調査	56.12．6～56.12.15	4	

海外開発計画調査事業

番号	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	サント・ドミンゴ市配電改修拡張計画調査	ドミニカ共和国政府よりサント・ドミンゴ市配電網近代化のためのF／Sおよび実施設計の要請があった。この要請に応えて事前調査を実施し，現地の電力需給，電力開発計画等の電力事情，サント・ドミンゴ市の電力事情，配電網の現状，改修，拡張計画について先方政府機関と協議し，次につなげるべきF／SのS／Wをとりまとめた。さらに上記事前調査結果をふまえ，F／S調査を実施するとともに国内設計作業を行った。 昭和５５年度は昭和５４年度に実施した配電システムの現状調査，建設資材の価格水準の現地調査の結果に基づき作成された報告書（案）を相手国政府に説明した。	54	海（事前）	54.10.14～54.10.27	2	5,641
			〃	海	55．2.13～55．3．7	7	29,313
			55	海（報告）	55．7.28～55．8．6	1	11,213
2	ユナ川水力発電開発計画調査	本調査はドミニカ共和国中央部を流れるユナ川上流の水力発電開発計画に関するF／Sを実施するものである。 昭和５６年度は本調査の実施に先立ちS／Wの署名を行った。	56	海（事前）	57．1.25～57．2.14	5	8,387

エクアドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	95,739	82	19,672	11	23,594	11	23,519	11	35,700	13	39,022	15	47,235	21	284,481	164
専門家	115,274	24	24,057	2	51,620	7	70,956	13	66,962	7	50,508	6	61,809	9	440,986	68
調査団	98,314	25	4,716	4	196		10,974	9	18,812	9	64,125	20	166,840	36	363,977	103
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	21,069		6,877		108,994		71,150		35,752		58,686		45,617		348,145	
その他	1,603		894		882		2,857		2,755		4,267		6,384		19,642	
合計	331,999		56,216		185,286		179,456		159,981		216,408		327,885		1,457,231	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	164	8	7		22	4	24	15	1		20	6	6	20	9	4	1		16		1	284,481
専門家	68				2		3	7				12	9	8			4		21		2	440,986
調査団	103				6			47	9		6	3		17					15			363,977
協力隊																						—
機材供与																						348,145
その他																						19,642
合計																						1,457,231

エクアドル

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	1					1																5,155
36 〃	1	1																				
37 〃	3				1						2											
38 〃	(1)2				1	(1)								1								
39 〃	1					1																1,231
40 〃	5				1			2	1		1											4,337
41 〃	(1)6	1			(1)			2			2			1								6,511
42 〃	3				1						2											3,387
43 〃	4	1						1						2								3,589
44 〃	6	1			1		1							3								3,742
45 〃	10				1			2			2	2		1	1						1	9,721
46 〃	7				1		1				1	3	1									9,466
47 〃	8	1			1						2	1		1	1	1						10,308
48 〃	6				2		1				1		1			1						9,178
49 〃	8		1		2		2				2		1									13,603
50 〃	11		1		1		3						1	4	1							15,511
51 〃	11		1		2	1	1	1						3	1	1						19,672
52 〃	11		2		2		1							1	1	1	1		2			23,594
53 〃	11		1		1		1				2		1	2					3			23,519
54 〃	13	2			2		4								2				3			35,700
55 〃	15		1		1		6	2						1	1				3			39,022
56 〃	21	1			1	1	3	5			3		1		1				5			47,235
合計	(2)164	8	7		(1)22	(1)4	24	15	1		20	6	6	20	9	4	1		16		1	284,481

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
36年度	1							1														7,981
37 〃	1							1														
38 〃	1				1																	
39 〃	1											1										5,051
40 〃	1											1										3,509
41 〃																						2,973
42 〃	5											4		1								9,968
43 〃	6											6										18,699
44 〃																						8,333
45 〃	3													2							1	5,495
46 〃																						14,031
47 〃	2													1							1	14,455
48 〃																						18,280
49 〃	(1) 1				1								(1)									3,886
50 〃	2													2								19,217
51 〃	2												2									23,930
52 〃	4												4									47,798
53 〃	4												3	1								37,546
54 〃	1							1														40,499
55 〃	3						2							1								37,635
56 〃	1						1															51,405
合計	(1) 39				2		3	3				12	(1) 9	8							2	370,691

エクアドル

(1) カッコは国際機関専門家で外数である。

エクアドル

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	自動車整備測定用機材	自動車整備工場	47	4,465
2	土質試験機材	電力公社	51	5,749
3	農業開発策定用機材	農政省地域農業国家計画局	56	35,483
計	3 件			45,697

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査団 調査期間	調査団 人数	調査団 経費（千円）	専門家 人数 継続	専門家 人数 新規	専門家 経費（千円）	機材供与 主要機材名	機材供与 経費（千円）	経費総額（千円）
微生物病研究対策 Research of Microbial Control 協定等の種類： R/D 署名年月日： 協力期間： （当初） 52.4.1～57.3.31 （フォローアップ） 57.4.1～59.3.31 相手国機関： 国立衛生研究所 国内協力機関： 東北大学医学部	エクアドル政府は，昭和50年6月，野口英世博士生誕100年の記念事業の一環として，公衆衛生省の熱帯病研究に対する協力をわが国に要請した。 これに応えわが国は，昭和51年4月に事前調査団を派遣し，本プロジェクト実施の可能性につき調査した。 その結果，協力対象機関となる国立衛生研究所の人材，技術水準等を考慮し，電子顕微鏡学，ウイルス学，細菌学の分野を中心とした微生物病研究をプロジェクト化することが最も効率的な医療協力を実施するものと判断され，昭和52年4月討議議事録のとりまとめを終り，向こう5カ年間にわたる医療協力が開始された。 協力内容は，同国グアヤキル市にある国立衛生研究所に対し，ウイルス，寄生虫病	50	事前調査	51. 3.28～51. 4.21	(5)	1/(3,096)						(3,096)
		51	実施調査	51.10.28～51.11.12	4	4,343						4,343
		52				196	—	3	5,259	透過型電子顕微鏡	(機)1,516 105,905	112,876
		53					1	5	28,294	走査顕微鏡，遠心器	(機) 244 66,867	95,405
		54	計画打合せ	55. 3. 9～55. 3.23	3	2,994	2	6	25,386	ガスクロマトグラフ，乾燥器	(機) 897 33,645	62,922
		55	同上報告書作成			(事) 210						71,767
		〃				(実) 198	2	3	20,555		(機)3,589 47,215	
		56	機材修理	56. 7.22～56. 8. 6	4	(研) 466 5,567						27,034
		〃	エバリュエーション	57. 3.10～57. 3.26	4	(実) 335 4,411	1	5	12,355		(機)3,362 538	
				1/ チリ，エクアドル医療協力事前調査，中南米一般参照，経費折半								

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	学分野を中心とする熱帯研究，特に免疫学，電子顕微鏡学，疫学等の技術の向上を図ろうとするものである。 昭和５７年３月には，エバリュエーション調査団を派遣して協力の成果について調査し，今後の方針について協議した結果，これまでに指導した技術の精度を高めるとともに技術を定着させるに必要であるとして２年間のフォローアップ協力を実施することとなった。 〔カウンターパート受入実績〕 年度：５２ ５３ ５４ ５５ ５６ 人数：９ ３ ２											

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
消化器内科	（コロンビア，エクアドル） 中南米一般を参照のこと。	51						(2)	(1,255)			(1,255)
		52							(137)			(137)
循環器科学		56						3	2.939		㊫1,344	4,283

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

エクアドル

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	アンデス・グループ多国籍海運基礎調査	（チリ，エクアドル，コロンビア） 中南米一般を参照のこと。	47	実施調査	47.11.21～47.12.22	(3)	(2,423)
2	グアヤス河橋梁架設計画調査	キト～グアヤキル間，カーニヤ～アイラス両県を結ぶためグアヤス河に橋梁を架設するための調査。	37	投	37. 5. 6～37. 7.16	6	5,352
3	コスタ地区（カタラマ川流域）農業開発計画調査	同国政府は，大豆，メイズ，ソルゴー等の飼料用作物の国内需給の達成と主食である米の増産を図るため，コスタ地区ガイアス河流域の農業開発を策定するため，わが国に協力を要請してきた。同要請に基づき，５５年７月に派遣された事前調査団はガイアス河流域で現地踏査を実施し，その一支流であるカタラマ川流域のプエブロ，ピエッホ周辺 18,000 ha を選定した。 昭和５６年度は，昨年度中に終了しなかった地形図作成を対象地域４地区に分け，各々の農業開発計画を策定し，最終報告書案の作成および説明を行った。	55	事前調査	55. 7. 4～55. 7.24	6	12,800
			〃	実施調査	55.11.14～55.11.26	3	28,890
			〃	実施調査	55.11.14～56. 1.13	5	
			56	実施調査	（技術費，報告書作成）	0	42,214
			〃	実施調査	56. 9. 6～56.12. 5	17	45,579
			〃	実施調査	57. 4.10～57. 4.20	6	
4	漁業開発計画基本設計調査	同国政府の国家開発５カ年計画における漁業開発においては，国民の食糧改善，輸出振興，零細漁民の生活確保と地域開発に主眼が置かれているが，この開発に関連して同国政府は，内水面養殖と水産学校教育の資機材について無償資金協力を要請してきた。この要請に基づき，わが国は５５年７月に基本設計調査チームを派遣し現地調査を実施するとともに報告書を作成し，同国政府に提出した。	55	特	55. 7.31～55. 8.20	6	16,160
5	グアヤキル市都市交通計画調査	エクアドル国最大の人口を擁するグアヤキル市の都市交通問題を解決するため，交通網整備計画を策定し，これに基づきＦ／Ｓを行うもので，56年度は，資料収集分析，交通調査を行った。	56	事前調査	56. 8.13～56. 8.29	6	5,486
			〃	実施調査	57. 4.10～57. 9.28	9	61,886

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	①（ブラジル，エクアドル，グァテマラ，メキシコ，ペルー）中南一般を参照のこと。	47	海	47.10.23～47.11.19	(2)	(422)
		②（エクアドル，グァテマラ，ペルー）中南米一般を参照のこと。	48	海	48.11.18～48.12. 3	(2)	(529)

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
2	鉱物資源開発計画調査	マクチ銅鉱山の鉱床を中心に調査。	37	海	37.11.15～38. 3. 5	3	4,613
			38	海		0	189
3	電源開発計画調査	同国北部のカルチ県サンミゲルテカール水力発電計画に関するフィジビリティ調査。	40	海	41. 2.24～41. 4. 9	5	6,034
			41	海		0	5,201
4	ミカ電源開発計画調査	キトー市南東８０kmにありアマゾン河の支流に注ぐミカ河の水力開発計画に関しフィジビリティ調査。	43	海	43. 8.14～43.10.12	6	14,069
5	電力長期開発計画調査	エクアドル電力公社が作成した電力長期５カ年計画（1973～1977年）を現状にあわせて見直すとともに，1984年末までの１０カ年を対象としたエクアドル国全体の電力系統の骨格を形成する発送電設備開発計画の最適案を技術的，経済的観点より策定するための調査を実施した。	49	海	50. 1.20～50. 3.20	6	20,205
			50	海	50.11.10～50.11.22	1	33,691

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
コスタ地区飼料穀物開発協力	① 基礎一次調査 エクアドル国政府の要請にもとづき，エクアドル国における農業開発に対する日本側の協力の可能性について，特に民間が行う農業開発協力事業の促進を図る見地からエクアドル国の提示するとうもろこし，大豆，ソルゴー（コーリャン）の三作物に限定して，これらの開発計画地域について，農業技術上の観点から調査し，これらの情報を広く国内関係者に提供することを目的とする。５０年度は５名からなる基礎一次調査団を派遣した。 ② 基礎二次調査 上記基礎一次調査の結果をふまえ，飼料穀物の開発事業の可能性調査のため，昭和５４年１月，９月からなる調査団を派遣し，飼料穀物栽培の実態，投資環境の具体的な把握等，現地調査および資料収集等を行った。	50	基礎一次調査	50.10. 6～50.10.30	5	5,590
		53	基礎二次調査	54. 1.21～54. 2.17	9	9,116
		54		（同上報告書作成）	0	2,287
		〃	開発計画調査	54. 8. 6～54. 9. 7	6	6,052
		55		56. 4. 9～56. 4.24	5	4,862

開発協力技術指導
専門家派遣

エクアドル

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績（千円）	技術指導内容
コスタ地区農業開発協力	53	4	54．3．30～54．7．29	6,959	飼料穀物（長期調査員）

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ガイアナ・デメララ漁港整備計画，エクアドル漁業振興計画，ハイティ・マラリア撲滅計画	（ガイアナ，エクアドル，ハイティ）中南米一般を参照のこと。	55	56．1.16～56．2．2	(2)	(787)
2	エクアドル漁業振興計画，ペルー・ペンタニージャ生活用水供給計画，オノリオーデルガード国立精神衛生研究所建設計画	（エクアドル，ペルー）中南米一般を参照のこと。	56	57．3.19～57．4．1	(2)	(896)

エクアドル

エル・サルヴァドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	61,775	51	24,840	13	29,559	14	6,523	4	7,615	3	1,546	1	14,154	7	146,012	93
専門家	174,394	25	37,715	3	42,012	2	30,444		—		—		—		284,565	30
調査団	34,635	18	44,201	8	8,730	1	1,405		—		—		—		88,971	27
協力隊	265,489	61	47,696	4	54,902	4	43,441	4	5,249		—		—		416,777	73
機材供与	108,725		18,576		11,893		6,766		—		—		—		145,960	
その他	343		1,540		383		—		—		—		—		2,266	
合計	645,361		174,568		147,479		88,579		12,864		1,546		14,154		1,084,551	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	93	1	1		11	1	22	2				2	19	2	1		13		12		6	146,012
専門家	30				6		8						8	1			6		1			284,565
調査団	27				5	13							9									88,971
協力隊	73				1	1	1	4					1		1		35				29	416,777
機材供与																						145,960
その他																						2,266
合計																						1,084,551

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2												2									
36 〃	5						1						4									6,727
37 〃	2												2									
38 〃	1																1					
39 〃	(1)5				(1)		2										3					1,220
40 〃	(1)2				(1)		1										1					1,288
41 〃																						
42 〃																						
43 〃																						
44 〃	1																1					563
45 〃	8						1	1				1	1		1						3	7,198
46 〃	4				2																2	6,038
47 〃	5				1		1										1		1		1	10,434
48 〃	1							1														1 095
49 〃	3						1					1	1									4,835
50 〃	(1)12				5		(1)2						2				1		2			22,377
51 〃	13	1	1				4						1	1			2		3			24,840
52 〃	14				1		3						5	1			2		2			29,559
53 〃	4						2										1		1			6,523
54 〃	3						2												1			7,615
55 〃	1																		1			1,546
56 〃	7				2	1	2						1						1			14,154
合計	(3)93	1	1		(2)11	1	(1)22	2				2	19	2	1		13		12		6	146,012

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

エル・サルヴァドル

エル・サルヴァドル

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2						1						1									20,580
36 〃	2						1						1									
37 〃	2												2									
38 〃	2						1						1									
39 〃																						5,996
40 〃	1												1									6,809
41 〃	1						1															8,439
42 〃	1												1									8,573
43 〃	2						1							1								15,181
44 〃	1				1																	13,260
45 〃	3						1										2					17,767
46 〃																						13,657
47 〃	3																3					8,595
48 〃																						21,466
49 〃	3				3																	32,953
50 〃	1				1																	24,543
51 〃	3						1						1				1					42,794
52 〃	2				1		1															46,146
53 〃																						32,647
合計	29				6		8						8	1			6					319,406

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
43年度	11																11					11,399
44 〃	2																2					15,539

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度	13																13					30,066
46 〃	10																				10	25,798
47 〃	8																				8	96,787
48 〃	3																3					36,811
49 〃	6							2							1		3					42,055
50 〃	8																2				6	52,057
51 〃	4					1	1														2	58,923
52 〃	4				1			1					1								1	63,062
53 〃	4							1									1				2	49,409
54 〃																						5,249
合計	73				1	1	1	4					1		1		35				29	487,155

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	機械自動車科用機材	エルサルバドル国立工業高校	42	4,326
2	体育機材	教育省	48	7,354
3	医療機材	中米電気通信センター	51	2,504
計	3 件			14,184

〔プロジェクト方式技術協力〕

協術協力センター事業

エル・サルヴァドル

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
国立工業技術学校拡充協力計画 協定等の種類：なし 署名年月日： 協力期間：	エル・サルヴァドル国立工業技術学校は，昭和３１年エル・サルヴァドル国の首都サン・サルヴァドル市に設立され，学科は(1)機械科，(2)自動車整備科，(3)電気科，(4)電子科の４科である。 わが国の協力は，昭和３５年１０月の専門家派遣に始まり延べ１７名の専門家を派遣した。 また，昭和４５年度には本件を小型プロジェクトとして取上げ，昭和４５年度15,168千円，昭和４６年度11,943千円の機材を供与した。その内訳は自動車部門に1,216千円，測定用計器類に550千円，電気部門に4,562千円，電子部門に3,557千円，ラジオ・テレビ部門に2,020千円，工具類を３８千円等を供与し，エル・サルバドル国立工業技術学校の発展に大いに寄与した。	35	事前調査		※2	…						
		36					—	※3	…			
		37					※3	—	…			
		38					※2	※3	…			
		39					※1	—	…			
		40					※2	※1	…			
		41					※2	※1	…			
		42					※2	※1	…			
		43					※2	※2	…			
		44					※3	※1	…			
		45					※4	※2	…		15,168	
		46					※4	—	…		11,943	
		47					※1	※3	…			
		48					※3	—	…			
		49					※3	—	…			
		50					※1	—	…			

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
消化器がん	学会出席	49						1	975		(株) 42	1,017

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番号	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	新国際空港建設計画調査	大型機種乗り入れ可能な新国際空港を建設する計画についてのフィジビリティ調査。 ４８年度は報告書を作成した。	47	実施調査	47.11. 6～47.12.15	13	26,960
			48	報告書説明	48. 7.18～48. 7.27	5	6,637

海外開発計画調査事業

番号	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	中南米鉱工業プロジェクト選定確認調査	④（エル・サルヴァドル，ホンデュラス，パナマ，ヴェネズエラ）中南米一般を参照のこと。	50	海	51. 3. 6～51. 3.26	(2)	(561)
2	金属機械工業開発計画調査	エル・サルヴァドル国は，第４次５カ年計画を1978年よりスタートさせたが，この基本は工業化の促進にあり，とくに金属機械工業部門を開発するため，現在ＵＮＩＤＯの援助を得て同部門の基礎調査を実施中である。このような状況において，同部門開発のマスター・プランおよび上記調査より同国が選定した４業種（農機具，電気・ガス・水道メーター，小型コンプレッサー，工具類）のフィージビリティー調査をわが国に要請してきたので，技術的，経済的見地から開発の可能性を検討するため，５１年度に実施した現地調査にもとづき，５２年度は報告書を作成し，現地説明を行った。	51	海	51.11.27～51.12.19	8	43,967
			52	海（報告）	52.11.12～52.11.20	1	8,340

グレナダ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		—		1,242	1	1,873	2	—		—		—		3,115	3
専門家	—		—		—		—		—		—		—		—	
調査団	—		—		—		—		—		—		—		—	
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		12,609		—		—		—		12,609	
その他	—		—		—		—		—		—		—		—	
合計	—		—		1,242		14,482		—		—		—		15,724	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	3							2								1						3,115
専門家																						—
調査団																						—
協力隊																						—
機材供与																						12,609
その他																						—
合計																						15,724

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

グレナダ

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
52年度	1															1						1,242
53 〃	2							2														1,873
合計	3							2								1						3,115

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	消防訓練用機材（小型消防車）	グレナダ外務省	53	12,609
計	1 件			12,609

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	53,911	50	19,692	13	28,962	18	16,919	9	24,500	14	26,313	13	25,552	12	195,849	129
専門家	77,636	9	111,987	15	121,932	18	146,220	16	157,359	12	176,634	29	157,781	10	949,549	109
調査団	68,115	45	131,171	17	181,837	20	136,716	19	85,515	14	132,254	12	122,534	15	858,142	142
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	14,230		23,365		89,234		39,251		29,407		43,932		32,330		271,749	
その他	2,531		4,404		4,837		5,136		4,269		6,729		4,724		32,630	
合計	216,423		290,619		426,802		344,242		301,050		385,862		342,921		2,307,919	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	129		3	1	22	2	47	10				9	1	7	5				20		2	195,849
専門家	109	5		2	5	2	7				1	1		3			3		80			949,549
調査団	142			3	24					5		70		21					19			858,142
協力隊																						—
機材供与																						271,749
その他																						32,630
合計																						2,307,919

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	1					1																2,201
36 〃																						
37 〃	1					1																
38 〃	2						1	1														
39 〃	1							1														339
40 〃																						
41 〃																						
42 〃	1							1														898
43 〃	2							1						1								1,467
44 〃	3						1	1						1								1,653
45 〃	7						2	3				1			1							5,400
46 〃	3				1		1					1										2,596
47 〃	3						1	1													1	3,982
48 〃	8				4		1					1		1	1							10,136
49 〃	9				2		4	1											1		1	12,581
50 〃	9				1		7							1								12,658
51 〃	13				7		3								1				2			19,692
52 〃	18				5		6					2							5			28,962
53 〃	9						3					2		2					2			16,919
54 〃	14		1	1			5					2		1	1				3			24,500
55 〃	13		1		1		5						1		1				4			26,313
56 〃	12		1		1		7												3			25,552
合計	129		3	1	22	2	47	10				9	1	7	5				20		2	195,849

グァテマラ

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	1										1											5,939
48 〃	2						2															12,750
49 〃																						27,729
50 〃	5				5																	34,307
51 〃	3					2	1															43,313
52 〃	4			2			2															30,319
53 〃	3						1					1					1					44,764
54 〃	3													3								65,263
55 〃	1						1															69,028
56 〃																						46,475
合計	22			2	5	2	7				1	1		3			1					379,887

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	水産機材	農業省PESCA社	48	3,271
2	電話訓練機材	電信電話公社（GUATEL）	52	26,628
3	医療関係機材	国立総合病院	54	4,087
計	3 件			33,986

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	人数 新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
オンコセルカ症研究対策 Onchocerciasis Research and its Control 協定の種類：R／D 署名年月日：50.7.21 協力期間： （当初） 50.10.1～55.9.30 （延長） 55.10.1～58.9.30 相手国機関： グァテマラ保健省 国内協力機関： 国立予防衛生研究所	グァテマラ共和国は，同国におけるオンコセルカ症の撲滅に関し，昭和48年わが国に医療協力を要請してきた。 昭和48年末に専門家派遣による予備調査，昭和50年3月の事前調査団の派遣を経て同年7月に派遣された実施調査団によりグァテマラ政府保健省との間にR／D（期間5年間）が取交わされた。 これによりわが国は，グァテマラ国内でオンコセルカ症研究対策のための医療協力を，次の3点を重点項目として実施することとなった。 ①オンコセルカ症対策（媒介虫対策および化学療法を含む）のための基礎調査。 ②San Vicente Pacaya パイロット地区（300 km²）での媒介虫対策を重点とするオンコセルカ症対策の実施。 ③グァテマラ全土で採用し得る，効果的なオンコセルカ症媒介虫対策の確立。 なお，協力期間の前半では準備段階として媒介虫であるブユの生態研究，試験地域の設定，散布計画の立案作成，後半は薬剤散布の実施と効果測定に重点をおいて協力を実施し，昭和54年2月には，協力期間前半の終了に伴い，効果測定のため，5名からなるエバリュエーション調査団を派遣した。	48						(人)1	1,496			(大)1,496
		49	事前調査	50. 3. 6～50. 3. 26	4	4,171						4,171
		50				250						10,571
		〃	実施調査	50. 6. 28～50. 7. 24	4	4,451				万能顕微鏡	5,870	
		51					—	12	70,720	凍結乾燥機	21,319	92,039
		52	計画打合せ	52. 6. 23～52. 7. 10	3	3,175	7	14	94,251	肺機能測定装置，顕微鏡，ランドクルーザー	(機)3,751 56,217	157,394
		53	エバリュエーション	54. 2. 11～54. 2. 25	5	4,436	8	13	101,756	万能顕微鏡，低温解卵器	(機)3,088 28,400	137,680
		54				398	—	9	95,529	脳波計，超低温冷凍庫	(機)1,450 16,529	113,906
		55	エバリュエーション	55. 5. 15～55. 5. 30	3	(実)670 2,969	8	28	112,141		(機)7,832 16,360	139,972
		56				(実)176	8	10	112,090		(機)14,569 16,979	143,814

グァテマラ

グテマラ

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	〔カウンターパート受入実績〕 年度 51～54 / 55 / 56 人数 8 / 1 / 1											

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
サンカルロス大学		55									10,651	10,651

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	開発調査プロジェクト選定確認調査	①（グァテマラ，ペルー）中南米一般を参照のこと。	47	事前調査	47.12. 1～47.12.26	(6)	(2,264)
2	港湾建設計画調査	グァテマラ国の太平洋岸には現在サンホセ港とチャンペリコ港の２港があるが，けい留施設として砂浜の天然海岸から沖に向って鉄杭桟橋が１本あるのみで本船の接岸は不可能であり，荷役は沖合に停泊した本船と解を使って極めて非能率かつ危険な状況にある。また，輸出入貨物は，ほとんど近隣諸国の港を通して取扱われているため，きわめて割高なものとなり，国民経済上大きな負担となっている。このため同国政府は外航大型船の港湾建設調査をわが国に要請した。これを受けて４８年度の予備調査を実施。４９年度においてはフィージビリティ調査を実施した。	48	事前調査	48. 9.17～48.10. 8	5	5,150
			49	実施調査	49. 4.16～49. 5.15	15	15,376
			〃	報告書説明	49. 9.25～49.10. 8	4	11,743

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	①（ブラジル，エクアドル，グァテマラ，ペルー） 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23～47.11. 9	(2)	(422)
		②（エクアドル，グァテマラ，ペルー） 中南米一般を参照のこと。	48	海	48.11.18～48.12. 3	(2)	(529)
2	地熱発電開発計画調査	ケサルテナンゴ地区を中心とする地熱地帯概査，資料収集・分析，現況把握等各種調査。 ４８年度は，第１次調査の結果にもとづき，第３次調査の円滑な実施を期するため，その前段として，物理探査のための測線の決定，発破孔の仕様および位置決定等の諸条件調査，測線沿いの縦断面図の作成，諸便宜供与の指示等を実施。 上記調査の結果，優勢な地熱徴候をもっていることが確認されたスニール地区について，５１年度は第３次として，地質調査，電気探査，地震探査等を実施し，地熱貯溜層を解明し，試錐位置を確定した。 ５２年度はこれらについて報告書を作成し，現地説明を行った。	47	海	48. 2.27～48. 3.28	7	11,651
			48	海	49. 2.11～49. 3.12	3	14,074
			51	海	51.11.28～52. 1.21	10	55,524
			52	海	52. 9. 3～52. 9.13	1	7,353

グァテマラ

資源開発協力基礎調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	西部地区資源開発協力基礎調査	グァテマラ国政府の要請にもとづき西部地区の鉱物資源の賦存の可能性を調査するもの。調査期間は，昭和５１年度から３年間，調査対象地域は，同国西部地区の面積約2,000 ㎢で，昭和５２年度から昭和５３年度にかけて地質調査，物理探査，ボーリングを実施した。 ㊟　５１年度の＋(2)はＭＭＡ予算。	51	資	51. 7.10～51.12.29	7＋(2)＋(3)（ＭＭＡより２名参加，現地参加３名）	75,647
			52	資	52. 9. 7～53. 3.21	17	170,061
			53	資	53. 6. 6～53.10.26	15	132,821
2	資源開発協力基礎調査フォローアップ調査	（グァテマラ，メキシコ） 中南米一般を参照のこと。	54	資	54. 8. 1～54. 8.15	(4)	(904)
3	東部地区資源開発協力基礎調査	東部のチキムラ（Chiquimula），マタケスクィントラ（Mataquescuintla）地区の面積約2,200 ㎢における鉱物資源賦存の可能性調査を行うもの。５５年	54	資	54. 5.25～54.12.13	21	84,160
			55	資	55. 8. 6～55.12. 5	11	133,269

グァテマラ

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		度は，第1年次調査の結果に基づき抽出された地域の地質調査，ボーリングを行った。	55	資	55. 8.25～55. 8.29		
			〃	資	55.11.11～55.11.20		
		昭和56年度は，土壌または岩石サンプルによる地化学探査および地質調査（精査）を実施した。	56	資	56. 7. 8～56.11.16	5	80,805
			〃	資	56.10. 3～56.10.31		
4	チキムラ地区地域開発計画調査	同国チキムラ県の南西に所在するロス・シミエントス地区とベントナイト鉱床を中心とする鉱山開発に必要なインフラストラクチャー整備計画策定と，それに関連する経済効果を分析検討するものである。 昭和56年度は，現地調査および収集した資料に基づき国内解析作業を行い，報告書の作成を行った。	56	資	56.10. 3～56.11. 1	6	39,564
5	事前調査折衝	（アルゼンティン，チリ，フィリピン，中国，グァテマラ） 世界一般を参照のこと。	56	資	56. 6.12～56. 6.25	(7)	(821)
			〃	資	56. 5.30～56. 6.11		
			〃	資	57. 2.15～57. 2.19		
			〃	資	56.12.15～56.12.19		
			〃	資	56. 6. 3～56. 6. 9		
			〃	資	56. 8.11～56. 8.22		
			〃	資	56. 7.12～56. 7.22		

タテ3.5×28行

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
林業開発協力	グァテマラは，国土の65%が森林であり，熱帯広葉樹およびマツ類資源が豊富に賦存しているものの，それが十分に活用されず，製材業等木材加工業はあまり発達していない。このため，グァテマラ政府は，木材加工業の振興・近代化を図ることとし，わが国に経済・技術協力を要請してきた。 本調査は，グァテマラの森林資源の賦存状況，林産業の現状，木材流通の実態等を調査し，民間協力の可能性を明確にすることを目的とするものである。	53	基礎一次調査	53.10. 3～53.10.25	5	5,156
		54		（国上報告書作成）		1,280

グアテマラ

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
	53年度は基礎一次調査団を派遣し，林業振興計画，経済，社会開発計画等を調査するとともに森林資源の賦存および利用の現況，木材加工業をとりまく情勢および投資環境等について調査を行った。					

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概　　要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	地方水道施設計画	本邦企業とグァテマラ国政府との間の契約の締結に関し調査，斡旋，連絡を行うとともに契約の実施状況につき調査を行った。	53	53.10.31～53.11.5	1	136
2	地方水道施設計画	（同　上）	53	54.3.25～54.4.7	2	1,629

ガイアナ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	6,377	4	4,337	5	10,269	5	—		6,929	4	8,473	3	7,960	3	44,345	24
専門家	—		—		1,649	2	—		—		—		—		1,649	2
調査団	4,297	4	—		—		1,242	—	778		16,992	6	954	1	24,263	11
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	215		—		230		—		—		985		127		1,557	
合計	10,889		4,337		12,148		1,242		7,707		26,450		9,041		71,814	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸・交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	24						7	7			3		3	3	1							44,345
専門家	2										2											1,649
調査団	11										11											24,263
協力隊																						—
機材供与																						—
その他																						1,557
合計																						71,814

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度	1										1											724
46 〃																						
47 〃																						
48 〃																						
49 〃	3										1			2								3,836
50 〃																						1,817
51 〃	5							4							1							4,337
52 〃	5						2	1			1		1									10,269
53 〃																						
54 〃	4						2	1						1								6,929
55 〃	3						1	1					1									8,473
56 〃	3						2						1									7,960
合計	24						7	7			3		3	3	1							44,345

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
52年度	2										2											1,649
合計	2										2											1,649

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ガイアナ

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	漁業基地建設計画調査	本計画は，ガイアナ国の未開発のまま放置されている同国沖合の漁業資源を開発し，自国民は勿論，同国がその一員となっているカリブ自由貿易連合の食糧基地の役割を果たすための漁業基地を建設するに当り，その施設の一部をわが国に援助方要請してきたものである。当事業団は，わが国の援助に応えるに当り，その計画内容の実現能否と援助実施についてフィージビリティ調査を行った。	49	特	50．1.10～50．1.31	4	3,975
			50	特		0	190
2	デメララ漁港整備計画基本設計調査	同国政府は国内の漁業振興のため，ジョージタウンのデメララ漁港の建設計画を立案し，わが国に対し無償資金協力を要請してきた。これに応えて，わが国は５０年と５３年に２回の無償資金協力を行ったが，更に第３次建設計画に対する無償資金協力の要請があったので５５年８月に調査団を派遣し，協力の意義・効果を確認するとともに，第３次建設計画の果たす役割と必要施設規模について同国政府関係機関と協議，必要な現地調査を行うと共に第３次建設計画の基本設計を作成した。	55	特	55．8．7～55．8.28	6	16,205

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ガイアナ・デメララ漁港整備計画，エクアドル漁業振興計画，ハイティ・マラリア撲滅計画	中南米一般を参照（ガイアナ，エクアドル，ハイティ）	55	56．1.16～56．2．2	(2)	(787)
2	漁業振興計画	本計画に関し，工事状況等について実施状況調査を行うとともに，実施上の問題点について関係機関と打合せを行った。	56	57．3.23～57．3.30	1	954

ハイティ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	2,223	6	—		—		—		—		4,185	2	—		6,408	8
専門家	—		—		—		—		749	1	—		1,346	1	2,095	2
調査団	—		—		—		—		1,126	2	787		28,718	14	30,631	16
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		1,225		1,225	
その他	—		—		—		—		151		—		1,915		2,066	
合計	2,223		—		—		—		2,026		4,972		33,204		42,425	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	8						1	3							2				2			6,408
専門家	2																		2			2,095
調査団	16																		16			30,631
協力隊																						
機材供与																						1,225
その他																						2,066
合計																						42,425

ハイティ

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
37年度	1						1															
38 〃	1							1														
39 〃	1							1														
40 〃																						
41 〃	1							1														573
42 〃																						
43 〃																						
44 〃																						
45 〃																						
46 〃	1														1							697
47 〃																						
48 〃	1														1							953
49 〃																						
50 〃																						
51 〃																						
52 〃																						
53 〃																						
54 〃																						
55 〃	2																		2			4,185
合計	8						1	3							2				2			6,408

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
56年度																						173
合計																						173

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（単発）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
医療材料整備		54						1	749			749

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
マラリア撲滅計画		56						1	1,173		(特)1,225	2,398

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	結核検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設計画調査	結核撲滅のための検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 6. 6～56. 6.26	7	27,359
			〃	特	56. 9.12～56. 9.21	5	

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	マラリア撲滅計画	本邦企業とハイティ国政府との間の契約の締結に関し調査，斡旋，連絡を行うとともに契約の実施状況につき調査を行った。	54	54. 7.16～54. 7.29	2	1,126

ハイティ

番号	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
2	ガイアナ・デメララ漁港整備計画，エクアドル漁業振興計画，ハイティ・マラリア撲滅計画	（ガイアナ，エクアドル，ハイティ）中南米一般を参照のこと。	55	56．1.16～56．2．2	(2)	(787)
3	結核撲滅計画	本計画に関し，同国政府に対しわが国の無償資金協力の仕組みを説明すると共に，今後の実施スケジュールについて協議・打合せを行った。	56	56.12．5～56.12.13	2	1,359

ホンデュラス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	39,149	32	17,389	10	19,960	10	20,226	13	22,193	13	24,350	13	26,137	16	169,404	107
専門家	1,303	—	2,683	2	15,541	4	20,325	1	15,818		22,968	2	48,527	12	127,165	21
調査団	941	—	9,923	7	345,952	67	303,773	21	190,371	29	40,893	13	235,087	39	1,126,940	176
協力隊	2,082	2	9,782	2	21,130	6	67,722	18	103,061	13	125,045	21	147,361	22	476,183	84
機材供与	5,939		5,809		14,282		41,584		75,174		23,190		56,736		222,714	
その他	—		986		8,432		3,526		4,389		2,462		6,895		26,690	
合計	49,414		46,572		425,297		457,156		411,006		238,908		520,743		2,149,096	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	107	2	2		8	9	35	7		5	1	5	6		3		6		15		3	169,404
専門家	21					7	2	4		1	1		1				1		4			127,165
調査団	176				27	14		43		30	16	46										1,126,940
協力隊	84	1				1	7	12		2	13		9				7	6	4		22	476,183
機材供与																						222,714
その他																						26,690
合計																						2,149,096

ホンデュラス

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
37年度																						919
38 〃	1						1															594
39 〃	2							2														
40 〃	1						1															660
41 〃	1						1															469
42 〃																						
43 〃	2						2															1,203
44 〃	1						1															649
45 〃																						
46 〃	3						3															2,415
47 〃	2	1					1															1,962
48 〃	4				1														3			3,383
49 〃	4				1		2												1			7,063
50 〃	11					1	4								1		4		1			19,832
51 〃	10					2	1						1		1		2		3			17,389
52 〃	10					2	3				1	2			1				1			19,960
53 〃	13		1		3	1	3	3											2			20,226
54 〃	13				1	2	3	1				2	1						3			22,193
55 〃	13		1		1	1	5	1		1		1	1						1			24,350
56 〃	16	1			1		4			4			3								3	26,137
合計	107	2	2		8	9	35	7		5	1	5	6		3		6		15		3	169,404

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度																						1,744
51 〃	1																1					2,429
52 〃	2							2														14,126
53 〃	1					1																21,989
54 〃																						20,846
55 〃	2						1	1														23,560
56 〃	11					6	1	1		1	1		1									61,061
合計	17					7	2	4		1	1		1				1					145,755

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度	2							1			1											2,752
51 〃	2						2															15,077
52 〃	6							2			1		1								2	28,236
53 〃	18						2	3			5						1				7	88,132
54 〃	13										1		4				1				7	154,888
55 〃	21						3	3		1	3		1				2		2		6	141,779
56 〃	C(1) 21	C(1)1				1		3		1	2		3				3	6	2			153,739
合計	C(1) 83	C(1)1				1	7	12		2	13		9				7	6	4		22	584,603

(注) Cは調整員である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ホンデュラマ

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	がん対策用機材	公衆保健省	50	5,209
2	気象水文勧測用機材（自記水位計，他）	天然資源省	53	10,525
3	化学毒物検査機材	最高裁判所法医学部	54	13,638
4	車輌整備機材	職業技術庁	55	6,884
5	地質調査用機材	天然資源省水資源局	56	36,054
計	5 件			72,310

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
消化器がん内視鏡	中米内視鏡会議出席	51						1	801			801
法医学		52						2	1,627		機 92	1,719
泌尿器科学		56						1	1,032		機 1,135	2,167

農林業協力事業

中米農業協力プロジェクトファインディング調査	（ドミニカ共和国，ホンジュラス）中南米一般を参照のこと。	55	事前調査	55.8.30～55.9.20	(5)	(2,946)						(2,946)
農業開発センター	ホンデュラス政府は，水稲および畑作の灌漑農業が漸く国家的事業として緒についた段階である同国農業の近代化を一層，促進するため，灌漑技術者の増大，技術向上を目的として，灌漑農業技術訓練センターの設置を計画し，この設立運営に対する協力をわが国に要請してきた。これを受けて昭和55年プロジェクト・ファインデング調査を行ったが，その結果，灌漑技術のみならず，農業技術一般の研修協力を行うのが望ましいとの勧告がなされたので，これに基づき，昭和56年10月，事前調査団を派遣し，ユマヤグア畜産農業試験場の一角に無償資金協力により新設される同センターに対する技術協力の可能性，内容等につき同国政府と検討協議を行い，併わせて現地調査を実施した。	56	事前調査	56.10.17～56.11.8	7	人 449 専 7,514						7,963

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	チョルチカ川流域農業開発計画調査	ホンデュラス国は，農業開発の一環として，チョルチカ川にかんがいを主目的とするダムとその下流，約200 kmの地点での頭首工，水路等のかんがい施設を築造し，約20,000 haを開発する事業を計画し，わが国にフィージビリティー調査の実施を要請してきた。 この要請に基づき，昭和51年にフィージビリティー調査の方針決定及びこの事業を具体化するに必要な協力構想策定のため，現地概査，資料収集及び同国政府関係者との協議を実施した。昭和52年は，昭和51年の調査結果を踏まえ，フィージビリティー調査を実施し，その結果をドラフト・ファイナル・レポートとして取りまとめ，ホンデュラス政府に現地説明を行った。	51	事前調査	52. 3.14～52. 4. 3	6	7,343
			52	事前調査	（報告書作成）	0	3,621
			〃	実施調査	52. 7.15～52.10.10	19	65,330
			53	実施調査	（報告書作成）	0	63,203
2	テグシガルパ新空港建設計画調査	現国際空港はプロペラ機時代に建設されたものであり，これを拡張することは地形上不可能なこともあって，新空港の建設を計画し，そのフィービリティー調査を要請越したものである。この要請にもとづき，適当な空港設置地区を選定し，建設に必要な諸事項の検討を含む調査を実施することとし，昭和52年度は本調査のS／W協議ならびに必要な資料および情報の収集を行うための事前調査を実施した。 昭和53年度は昨年度実施した空港建設適地選定調査の国内取りまとめ作業を行い，ホンデュラス政府がこの選定に対し正式に確定したため，この確定候補地に関して新空港基本計画を立案し，これに基づくプロジェクトの総合評価を行った。	52	事前調査	52.10.14～52.10.31	7	8,251
			〃	実施調査	53. 2.17～53. 3.28	14	52,744
			53	実施調査	53. 9.29～53.10. 9	4	73,638
			〃	実施調査	54. 2. 2～54. 3. 3	11	
			54	実施調査	54. 6.23～54. 7. 2	5	35,062
3	水産資源調査	ホンデュラス国政府は，第2次国家開発計画の一環として同国大西洋岸における水産資源開発を計画し，わが国に対し協力を要請した。この要請に基づき，昭和55年1月に事前調査を実施し，同年9月にS／Wを締結し，11月には実施計画協議チームを派遣して具体的な計画案の策定を行った。56年度は，同計画に基づき海上調査を実施した。これは57年度にも継続実施される予定である。	54	事前調査	55. 1.25～55. 2.15	5	4,935
			55	事前調査	（報告書作成）	0	1,406
			〃	実施調査	55. 8.29～55. 9.14	3	6,307
			〃	実施調査	55.11.14～55.12.23	2	
			56	実施調査	（資機材購送）	0	62,976
			〃	実施調査	56. 6. 5～57. 3.31	3	40,240
			〃	実施調査	57. 3. 8～57. 3.20	3	
4	林業資源調査	同国の森林政策上，重要な位置づけにありながら，未開発のラ・モスキーティア地区（20万ha）の林業資源の開発について，わが国に対し技術協力を要	54	事前調査	55. 1.25～55. 2.15	5	14,221
			55	事前調査	（報告書作成）	0	1,792

ホンデュラス

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		請した。そのため，「航空写真撮影」と「森林調査」を行い，「森林経営計画マスタープラン」を作成するものである。昭和５５年８月にＳ／Ｗを締結し，昭和５６年３月に航空写真撮影を完了した。５６年度は基準点測量，森林基本図の図化および森林調査を行った。	55	実施調査	55. 9.15～55. 9.25	4	26,390
			〃	実施調査	56. 1. 8～56. 3.31	4	
			56	実施調査	56. 5. 8～56. 6.18	5	54,318
			〃	実施調査	56. 9.14～56.10.18	4	54,273
			〃	実施調査	57. 1.30～57. 3.30	8	
5	農業開発研修センター建設計画調査	灌漑事業を中心とする農業技術者の養成に必要な農業開発研修センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57. 2. 8～57. 2.22	9	12,301

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	④（エル・サルヴァドル，ホンデュラス，パナマ，ヴェネズエラ）中南米一般を参照のこと。	50	海	51. 3. 6～51. 3.26	(2)	(561)

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	資源開発協力基礎調査プロジェクト選定確認調査	（ホンデュラス，ニカラグァ）中南米一般を参照のこと。	51	資	51.10. 3～51.10.25	(3)	(1,788)
2	西部地区資源開発協力基礎調査	ホンデュラス国政府の要請にもとづき，同国西部地区の鉱物資源賦存の可能性についての調査。調査期間は，昭和５１年度から３年間。調査対象地区は，チャメレコン川流域の面積約1,200 ㎢の地域である。	51	資	52. 1.24～52. 2.15	1＋(3)	759
			52	資	52. 5. 1～52.12.25	28	222,877
			53	資	53. 5.15～53.10. 6	18	175,915
		㊟ ５１年度の＋３はＭＭＡ予算	54	資	54. 5.21～54. 9. 7	15	140,835
3	フォローアップ調査	（モロッコ，ホンデュラス）世界一般を参照のこと。	55	資	55. 4.19～55. 4.28	(4)	(1,032)
			〃	資	56. 1.13～56. 1.19		

ジャマイカ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
経費及び人数	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	7,409	6	1,818	2	3,404	1	875	1	15,469	6	6,952	2	14,947	6	50,874	24
専門家	9,104		—		1,014	1	—		351		12,942	2	30,997		54,408	3
調査団	—		—		—		—		—		—		17,064	16	17,064	16
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	1,720		29,658		21,505		—		10,476		4,450		11,447		79,256	
その他	—		—		115		—		—		328		2,298		2,741	
合計	18,233		31,476		26,038		875		26,296		24,672		76,753		204,343	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	24		5		1	1		5				2			3	2	2			3		50,874
専門家	3							2											1			54,408
調査団	16							16														17,064
協力隊																						—
機材供与																						79,256
その他																						2,741
合計																						204,343

ジャマイカ

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
46年度	1				1																	737
47 〃																						
48 〃	2														2							1,821
49 〃	2							1								1						3,837
50 〃	1															1						1,014
51 〃	2		1					1														1,818
52 〃	1														1							3,404
53 〃	1		1																			875
54 〃	6		1					2				1					2					15,469
55 〃	2							1				1										6,952
56 〃	6		2			1														3		14,947
合計	24		5		1	1		5				2			3	2	2			3		50,874

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	(4)							(4)														2,854
50 〃	(3)							(3)														7,990
52 〃	(1)							(1)														
53 〃	(1)							(1)														
54 〃																						351
55 〃	2							2														17,392
56 〃																						42,444
合計	(9) 2							(9) 2														71,011

（注） カッコは国際機関専門家で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	農業機材	農業開発公団	51	19,252
2	農業機材	農業開発公団	52	6,155
3	農業機材	農業開発公団	52	15,158
4	農業機材	農業開発公団	54	10,476
計	4 件			51,041

ジャマイカ

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
歯科学		52						1	1,014		190	1,204

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
ウェストインディーズ大学		51								大腸ファイバースコープ	10,406	10,406

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
コーヒー栽培開発協力	本調査は，ジャマイカのブルーマウンテン地域における立ち遅れたコーヒー栽培技術に	56	基礎一次調査	56. 7.12～56. 7.26	8	7,782

ジャマイカ

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
	関し，近代的農法をとり入れた栽培技術，新品種の導入により，生産性の向上を図るための試験的事業実現の可能性を検討し，次いで，開発計画調査で，開発計画を策定するものである。 昭和５６年度の一次調査においては，コーヒー・ボードの意向並びに現地調査を行い，民間企業の同国コーヒー産業の再建，計画参加の可能性を調査した。この結果，開発計画調査では，わが国民間が計画するブルーマウンテン地区北部山岳斜面における，品種並びに耕種法の改善と，土地改良を含む試験的事業実現のための調査を行った。	56	開発計画調査	57．2.27～57．3.13	8	7,918

〔開発投融資〕

融資承諾年月	事業名	事業地	本邦事業者	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		グラント・エレメント（%）	備考
					金利（%）	返済期間（）内据置年	承諾額（百万円）	契約年月	契約額（百万円）	年度	実行額（百万円）		
57.12.28	ブルーマウンテンコーヒー新栽培地域開発試験事業	ジャマイカスキボー地区		品種比較試験，品種適正試験，栽培技術試験	0.75	20(5)	243	58．3.14	120				

メキシコ

1 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	831,800	567	331,304	107	352,132	114	288,755	127	474,537	132	585,851	147	624,076	160	3,488,455	1,354
専門家	542,669	68	113,364	12	123,213	12	208,635	10	169,003	20	142,801	28	243,571	37	1,543,256	187
調査団	64,531	30	196,042	15	190,642	42	215,828	14	115,121	40	392,516	97	154,814	39	1,329,494	277
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	245,419		17,059		44,088		16,527		89,901		62,367		152,514		627,875	
その他	2,593		4,526		6,830		3,383		9,081		20,514		12,767		59,694	
合計	1,687,012		662,295		716,905		733,128		857,643		1,204,049		1,187,742		7,048,774	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	1,354	20	67	6	116	13	175	65	12	4	159	42	423	26	69	13	24		103	2	15	3,488,455
専門家	187	3	6	6	16	11	58	6	12		26	15	11				12		3	1	1	1,543,256
調査団	277	3			83	7	11	19	13			102	26				13					1,329,494
協力隊																						—
機材供与																						627,875
その他																						59,694
合計																						7,048,774

メキシコ

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 入数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
33年度	1												1									
34 〃	1					1																
35 〃	4				3									1								9,695
36 〃	3		1					2														
37 〃	8	1	1		4								1						1			
38 〃	(1) 1				(1)			1														
39 〃	6				1		2	1			2											2,468
40 〃	10				1		6	1			1						1					6,950
41 〃	10		1		1		6	1									1					6,320
42 〃	18				2		7	4	1		2						1				1	14,128
43 〃	17				4		7	1	1		2		1				1					12,671
44 〃	22	2			1		8	3	1		2		1				2				2	15,324
45 〃	(1)19				3		(1)7	4			2	1	1				1					13,549
46 〃	(1)39				8		(1)2	2	2		9	1	4		3		5		1		2	48,442
47 〃	(3)111		1		(1)19	3	(1)26	11			2		28	10			4		2		(1) 5	192,336
48 〃	122		14		10		20	10			3	10	32		12	5	1		4		1	160,873
49 〃	82		6		1		10	2			4	7	40	3	7						2	130,615
50 〃	93	2	5		5		7	6			17	1	40				1		9			218,429
51 〃	107		10		3	3	10	5			6	5	49	3			3		10			331,304
52 〃	114	2	4		4		13	2	1	1	17	4	56		3	1			6			352,132
53 〃	127	4	7	1	7	1	9	4			23	2	34	5	12	2			16			288,755
54 〃	132	2	6	1	10		11	1	2	1	21		42	1	14	2	1		16		1	474,537
55 〃	147	5	6	1	13	4	7	2	1	2	24	5	49	2	2	2	2		19		1	585,851
56 〃	160	2	5	3	16	1	17	2	3		22	6	44	1	16	1			19	2		624,076
合計	(6)1,354	20	67	6	(2)116	13	(3)175	65	12	4	159	42	423	26	69	13	24		103	2	(1)15	3,488,455

（注） カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
39年度	2						2															3,298
40 〃	2						2															10,499
41 〃	1						1															16,066
42 〃	2						2															8,827
43 〃	11				5		3				3											20,606
44 〃	1				1																	12,132
45 〃	4							1			3											22,417
46 〃																						18,965
47 〃	6				2			4														24,797
48 〃	5						2				1	1									1	36,917
49 〃	2										2											30,105
50 〃	12		1		1	1		1			6						1		1			75,672
51 〃	12	1					6				2	1	2									127,135
52 〃	11				2		2		4		2						1					133,137
53 〃	10						4				3	1	1				1					218,165
54 〃	16	2			3		6						1				4					175,559
55 〃	24			6		4	3		2		4		3				2					152,636
56 〃	26		5		2	6	5					4	2				1			1		178,212
合計	147	3	6	6	16	11	38	6	6		26	7	9				10		1	1	1	1,265,145

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	水産指導用機材	ラパス水産学校	45	3,170
	（同上46年度支出分）		46	997
2	果樹園芸研究機材	サンチャゴ大学	46	1,855

メキシコ

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
	（同上47年度支出分）		47	152
3	農業教育機材	チャンピコ大学	49	15,878
4	がん対策機材	国立がん研究所	50	4,584
5	沿岸漁業機材	商工省水産局	52	5,193
6	L・L装置	メキシコ大学	52	15,386
7	電気通信機材	電気通信学園	54	51,942
8	家畜衛生機材	農業水利資源省	54	10,716
9	石油化学研究機材	文部省	55	11,786
10	畜産指導用機材	緬羊繁殖センター	56	5,718
計	10件			127,377

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
電気通信技術訓練センター 協定等の種類：協定 署名年月日：42.7.24 協力期間： （当初）42.7.24～46.7.23 （延長）46.7.24～48.7.23 （延長）48.7.24～50.7.23	1961年メキシコ政府は大型マイクロ機器の保守要員の訓練のために保守訓練学校を設立し，わが国に対しマイクロ専門家の派遣を要請してきた。これに対してわが国は中南米技術協力計画に基づき2名のマイクロ専門家を派遣し，その後も海上無線および電話交換の2部門の増設希望に応じてそれぞれ1名，計2名の専門家を派遣した。 さらに，昭和43年メキシコオリンピック開催を契機に電気通信施設の大規模な拡充が図られ，その施設の設計，建設，運用，	39					—	※2	…			…
		40					※2	※2	…			…
		41	実施調査	41 6.3～41 6.24	4	2,941	※4	※1	…			…
		42					※3 (3)	7	27,658		79,909	107,567
		43					8	2	32,724		295	33,019
		44					8	—	29,947		1,166	31,113
		45					8	2	34,287		11,300	45,587
		46					7	4	32,234			32,234
		47	エバリュエーション		(2)	1」 (605)	6	—	22,555		89,214	(605) 111,769
		48					6	※2 4	49,721		(携)1,389	51,110

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	人数 新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
相手国機関： 国内協力機関：	保守の分野に多数の技術者が必要となった。このためメキシコ政府は同校を拡充強化することを目的としてわが国に技術協力センター方式による協力を要請してきた。これを受けてわが国は，昭和４１年６月実施調査団を派遣し，昭和４２年７月２４日両国政府間で協定を締結するに至った。 この結果，(1)マイクロウェーブ訓練コース，(2)電信自動交換訓練コース，(3)無線通信訓練コース，(4)搬送訓練コース，(5)電話網設計訓練コースの５コースを開設することとなった。 なお，この協定協力期間は，メキシコ政府の強い要望によって昭和４６年および昭和４８年に２年間づつ延長され，昭和５０年７月２３日協定終了にともない本センターをメキシコ政府へ引継いだ。 〔カウンターパート受入実績〕 年度：39～45，48，49 人数：7，1，3	49					6	1	49,931		518	50,449
		50	エバリュエーション	50. 7. 9～50. 7.19	2	1,222	6	—	18,304			19,526
		51	機材修理	51. 8.13～51. 8.29	2	2,060	※5	—	…			…
		52										0
		53										0
		54	アフターケア	54.10.22～54.11. 5	3	(専) 138 1,829					5,443	7,410
		55				57					1,294	1,351
			1」 ブラジル繊維センター，メキシコ電通センターの２センターのエバリュエーション調査，中南米一般参照，経費折半。									
備考： 開所式 42.12.5												
日墨技術教育センター Mexico — Japan Technologicol Education Center	メキシコ政府は，同国の工業及び経済社会開発のために必要な中堅技能労働者の不足に直面しており，このため，中堅技能労働者の育成対策に重点を置いたC.E.T.（Centro de Estudios Technologicos）の整備に努めている。しかしながら，既存	56	事前調査	56. 7.27～56. 8. 9	7	5,567						} 13,989
		〃	実施協議	56.12. 5～56.12.20	6	5,143	—	2	3,279			

メキシコ

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数		経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
							継続	新規				
協定等の種類：R／D 署名年月日：56.12.17 協力期間： （当初）　57.4.1～62.3.31 相手国機関： 文部省工業技術教育局 国内協力機関： 労働省，雇用促進事業団	のC.E.T.における教育訓練のレベルは未だ不十分であり，C.E.T.卒業者の社会的地位も低いのが現状である。このような背景のもとに，同国政府は，C.E.T.のレベルアップを通じ，真に実力を備えた中堅技能労働者を世に送り出し，中堅技能労働者の社会的地位の向上を図ることを目指し，特にわが国の得意とする分野の協力を要請してきた。 この要請に対しわが国は昭和５６年７月に事前調査チームを派遣し，要請の背景，要請の具体的内容について調査した。その後同年１２月にはこの調査結果を受けて実施協議チームを派遣し，協力の具体的内容につき協議を行い，R／Dに署名し，５年間にわたるプロジェクト方式技術協力が開始されることとなった。 協力の内容は，養成の対象を中等教育終了者とし，(1)電子通信コース，(2)工業電子コース，(3)コンピューターコース，(4)仕上げコース，(5)工作機械コース，(6)金属加工コースの６コースにつき協力を実施するというものである。												

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
内視鏡	メキシコがん学会出席	52						1	841		(機) 50	891
消化器内視鏡		56						1	940			940

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
家畜衛生センター The National Virus Research Institute Project 協定等の種類：R／D 署名年月日：56.6.1 協力期間： （当初）56.6.1～61.5.31 相手国機関： 農業水資源省牧畜衛生局 国内協力機関：	メキシコ政府は昭和５３年にアフリカ豚コレラがブラジルに発生して以来，同病の侵入防止に対処するため，動物ウイルス病撲滅に全力を挙げているが，昭和５５年８月，家畜衛生センター設置運営に関し，わが国に技術協力を要請してきた。 この要請に対しわが国は，昭和５５年７月に事前調査チームを派遣し，要請内容の確認と技術協力の可能性につき調査した。その後，昭和５６年３月に派遣された実施協議チームによりＲ／Ｄが締結され協力が開始された。 本件プロジェクトは，同国メキシコ連邦州テカマク市にある農業水資源省牧畜衛生局家畜衛生センターを拠点として豚コレラＧＰワクチンの試作製造技術とワクチン検定技術の確立ならびに豚コレラ，アフリカ豚コレラの診断技術の確立と重要ウイルス疾病の診断技術の指導・助言等を内容とする	55	事前調査	55. 7.21～55. 8.10	5	(実) 23 5,562						9,745
		〃	実施協議	56. 3.30～56. 4.17	5	4,160						
		56	(同上報告書作成)			(報) 772						82,454
		〃	計画打合せ	57. 2. 8～57. 2.23	3	2,572	—	6	35,444	ワクチン製造機材, ワクチン検定機材	(機) 5,867 37,799	

メキシコ

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
	技術協力を実施するものである。 〔カウンターパート受入実績〕 年度 53 56 人数 3 2											
農林水産業協力における人材養成システムに関する調査	（フィリピン，タイ，コロンビア，コスタ・リカ，メキシコ） 世界一般を参照のこと。	55	基礎調査	56. 3. 2～56. 3. 21	(4)	(2,796)						(2,796)
家畜衛生計画基準作成調査	（インドネシア，マレイシア，タイ，フィリピン，ケニア，メキシコ，コスタ・リカ，コロンビア） 世界一般を参照のこと。	56	基礎調査	57.3.30～57.4.23	(8)	(1,578)						(1,578)

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
選鉱製錬技術育成 Technical Cooperation on The Technology of Mineral Processing and Metallurgy 協定等の種類：R／D 署名年月日： 協力期間：	1977年8月に中南米プロジェクト選定確認調査団訪墨の折り，調査団に対しメキシコ政府国有財産工業振興省（CFM）より，非鉄金属，鉱物の選鉱・精錬に関する技術開発，技術指導，人材養成につき協力の打診があった。1978年には，同国政府は非鉄金属の選鉱・精錬部門に対するわが国の技術協力を正式に要請してきた。 これに対しわが国は，昭和53年10月	53	事前調査	53.10.18～53.11.16	4	4,984						4,984
		54	実施協議	54.11.24～54.12. 8	3	2,110	—	4	10,328		215	12,653
		55				専 253						37,991
		〃	計画打合せ	55.11.26～55.12.10	4	3,325	—	4	19,265	赤外分光光度計，示差熱分析計	機 766 14,382	
		56	巡回指導	57. 1.27～57. 2.12	4	人 1,852 3,428	4	2	45,208	X線蛍光分析装置，原子吸光分光光度計	機 720 76,596	128,428
		〃				専 624						

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
（当初）54.12.5～58.12.4 相手国機関： 国有財産工業振興省 国内協力機関：	に事前調査団を派遣し，協力の可能性について調査した。昭和５４年１１月には，上記事前調査の結果を踏まえ，実施協議チームを派遣し，メキシコ側関係機関と協議し，討議議事録にとりまとめ署名した。 本件プロジェクトは，メキシコ国選鉱製錬研究所に対し，酸化銅鉱石の処理及び複雑硫化鉱の２分野について，研究開発，現場指導及び人材養成等の機能強化のための協力を４年間にわたってプロジェクト方式により行うものである。 〔カウンターパート受入実績〕											

年度	５３	５４	５５	５６
人数	1	0	3	4

〔開発調査方式技術協力〕
開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	メキシコ・コスタリカ港湾計画調査	（コスタリカ，メキシコ） 中南米一般を参照のこと。	46	事前調査	47．1.25～47．2.21	(4)	(1,997)
2	港湾建設計画調査	マンサニージョ，マサトラン両港の整備計画について，フィジビリティ調査を行い，その結果としてマンサニージョ港整備計画と同港工業団地計画，マサトラン港水産団地計画の３プロジェクトを早期完成させるため，施行管理体制の強化を勧告し，施行指導のため専門家２名を派遣してフォローした。	47	実施調査	47．9．6～47.10．9	12	30,236
			〃	報告書説明	48．3.30～48．4．6	2	1,360

メキシコ

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
3	市内通勤鉄道建設計画調査	メキシコ市は，1,250万人の人口を有する大都市であり人口も年々増加しており，通勤圏は郊外に分散せざるを得ない現状にある。現在使用できる交通手段としては地下鉄，バス，乗用車に頼っており，特に道路交通において，交通渋滞は著しく，また排気ガスによる大気汚染に悩まされている。メキシコ政府は通勤鉄道を建設することが急務であるとの結論から，この点の検討を行う調査団の派遣を要請してきた。この要請に基づき，通勤鉄道新線建設に係わる経済的・技術的可能性のプレフィージビリティ調査を実施した。本調査ではＳ／Ｗに基づきメキシコ側策定基本計画を見直すと共に，建設予定路線７２㎞の建設基準の検討，工費算定，経済効果等について必要な調査を行った。なお，本件は大規模プロジェクト調査としてとりあげられている。	52	事前調査	52．7.27～52．8.12	8	50,856
			〃	事前調査	52．9.19～52.10.19	12	
			〃	事前調査	53．1.18～53．1.27	7	
4	近郊鉄道計画調査	メキシコ国政府は，鉄道施設の近代化を進めているが，第１段階としてメキシコ～ケレタロ間の複線化，メキシコ～ラス・トルーチャス間の新線建設計画を実施中であるが，次段階としてメキシコ全土の幹線電化を計画し，優先区間として，①メキシコ～ケレタロ間（244㎞），②ケレタロ～イラプアト間（95㎞），③アオルカド～サンルイス・ポトシ間（211㎞）を取り上げ，このうち①と②の２区間については1982年までに建設させたいとしてメキシコ国鉄の職員を中心に第１次Ｆ／Ｓを作業中である。本件は，電力の問題を初めとして施設計画等技術的事項および財政，運営等のソフトの分野についてわが国に協力を要請越したものである。	54	アフターケア	54．6.18～54．8．1	4	7,326
5	幹線鉄道電化計画調査	前記第１次Ｆ／Ｓにもとづきメキシコ国政府はメキシコ～ケレタロ，ケレタロ～イラプアト間については1982年までに建設したいとして，昭和５５年３月より詳細設計のための調査を開始した。調査の開始にあたり，詳細設計等を行わせるためＳＣＴ（運輸通信省）内に国鉄電化調整局を設け，その補佐組織として技術諮問会を設置した。この技術諮問会は詳細設計調査の結果をレビューし，その妥当性につき評価，コメントを行うことを目的としているが，同国政府はこの諮問会に対する技術協力を要請越したものである。 この要請に対しわが国は，幹線鉄道電化の詳細設計の技術基準，仕様書，入札書類等に対し技術上の助言を行い，電化計画の推進に協力した。	54	事前調査	55．3．3～55．3.12	2	2,168
			55	実施調査	55．4.16～55．8.31	6	109,045
			〃	実施調査	55．5.23～55.11.14	5	
			〃	実施調査	55．6．2～55．6.29	4	
			〃	実施調査	55．6.20～55．7．4	5	
			〃	実施調査	55．7．4～55．7.24	3	
			〃	実施調査	55．8．1～55.12.24	2	
			〃	実施調査	55．8.14～55．8.31	3	
			〃	実施調査	55．9.10～55.11.14	3	

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
			55	実施調査	55.10.10～55.10.24	1	
			〃	実施調査	55.11. 3～55.11.17	1	
			〃	実施調査	55.11.21～55.12.17	6	
			〃	実施調査	56. 1.12～56. 2. 1	1	
			〃	実施調査	56. 1.19～56. 2. 1	2	
			56	実施調査	（報告書送付）	0	39
6	経済技術協力調査	メキシコに対するわが国の技術協力の効率的な実施を図るため，同国政府と協議し，昭和５４年度までに実施した技術協力のレビューと昭和５５年度実施する技術協力案件の選定，確認を行った。また１０年を経過した日墨交流計画について検討のため協議を行った。	55	事前調査	55. 7.29～55. 8. 4	3	1,644
7	臨海工業地帯建設技術協力計画調査	同国政府の要請に基づき，同国で行っている臨海工業地帯建設に不可欠な港湾整備に関し，計画推進上生じている諸問題解決に必要な調査を実施し，代替案の提案等を行うものである。昭和５６年度は港湾の計画，工事の進展に伴い要請の強くなっている各港の多目的埠頭に対する荷役施設を含めた施設計画および貨物のハンドリング・オペレーションに対する検討を行い，建設計画の提案を行うとともに最終報告書を作成した。	55	実施調査	55. 7.23～55. 8.12	2	29,858
			〃	実施調査	55.11.10～55.11.26	2	
			〃	実施調査	56. 1.26～56. 2.15	2	
			56	実施調査	（報告書送付）	0	73
			〃	実施調査	56. 9.30～56.10.18	2	20,093
			〃	実施調査	57. 1.21～57. 2.14	2	
8	トスクパン工業港計画調査	同国政府は，現在主要都市，特に高地にある３大都市（メキシコシティー，モンテレイ，グアダラジャラ）に集中している工業，人口を分散し均衡ある国土の発展を図るため，全国工業開発計画を推進している。この一環として工業港を中心とする臨海工業地帯の建設の１つとしてトスクパンが選定されわが国にＦ／Ｓの要請がなされたものである。５６年度は要請の背景，内容を聴取し，資料収集等を実施し，Ｓ／Ｗを締結した。	56				

海外開発計画調査事業

メキシコ

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	（ブラジル，エクアドル，グァテマラ，メキシコ，ペルー） 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23～47.11.19	(2)	(422)
2	鉱物資源開発計画調査	太平洋岸コリマ州ペーニア，コロラダ鉄鉱山の開発に関する基礎調査を行い，開発の可能性の調査。	38	海	39．3.16～39．4.29	6	5,191
			39	海		0	1,005
3	ゲレロ州硫化鉄鉱開発計画調査	首都メキシコシティーの南方，デレロ州の各所にある硫化鉄鉱床を日本の高度な活用技術である「塩化揮発ペレット法」を適用して付加価値を高めるためのF／Sである。 昭和５４年度は，事前調査を実施し，S／Wについて協議，ならびに対象予定鉱床を現地調査，関連資料の収集を行い国内解析により本格調査対象鉱床を選定した。 昭和５５年度は２鉱床の資源調査，塩化揮発ペレット法の適合性，さらに基本設計と概念設計を行った。 昭和５６年度は，５５年度に実施した現地調査結果を踏まえ，最終報告(案)の現地説明を行った後，最終報告書を作成した。	54	海（事前）	55．1.25～55．2.22	3	13,801
			55	海（報告）	55．8．4～55．8.13	1	2,717
			〃	海	55.10.10～55.11.14	6	66,550
			56	海（報告）	56．6.17～56．6.26	1	3,640
4	ラグーナ地域綿繊維工業開発計画調査	メキシコ政府はラグーナ地域住民，綿花生産者の所得増大，雇用の拡大および外貨獲得を目指した綿繊維一貫工場の建設を計画した。本件はこの企業化可能性を調査することを目的とするものである。 昭和５５年度は事前調査に引続き，市場調査，原料調査，工場立地と生産能力，技術上の検討，財務検討と社会経済的な評価を行った。 昭和５６年度は昨年度に引き続き，国内設計作業，最終報告書案の作成，説明チームの派遣後，最終報告書をとりまとめ，業務を完了した。	55	海（事前）	55．6.30～55．7.11	5	5,287
			〃	海	56．1.14～56．2.12	9	32,999
			56	海（報告）	56．6.24～56．7．3	3	13,002

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	北部地区資源開発協力基礎調査	調査対象地域は，コアウィラ州北部で，二方をＵＳＡ国境とチワワ州境で境する面積約16,000 ㎢の地域。５０年度はS/Wの折衝，事前調査，全地域の空	50	資	50．7.12～50．8．1	1＋(3)	21,970
			〃	資	50.11.19～51．3.31	3	

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		中磁気探査を実施。５１年度は，空中磁気探査，地上サンプリング調査，地質調査および地化学探査を実施した。	51	資	51．4．1～51．6．7	(1)	197,104
			〃	資	51．4.28～52．3.12	13＋(2)	
		㊟　５０年度の＋(3)はＭＭＡ予算	52	資	52．6.15～52．7．3	16	145,613
			〃	資	52．8.12～52.12．9		
			53	資	53．4.28～53.11.10	14	214,281
2	資源開発協力基礎調査フォローアップ調査	（グァテマラ，メキシコ）	54	資	54．8．1～54．8.15	(4)	(904)
		中南米一般を参照のこと。					
3	パチュカ地区資源開発協力基礎調査	同国の中央部に位置するパチュカ地区の鉱物資源賦存の可能性を調査するもの。	54	資	54．7.22～54.11.18	18	77,282
		昭和５４年度は，調査地区全域の地形図の作成，空中写真，地質判読および地質調査を実施した。	55	資	55．5．2～55．5.11	12	129,861
			〃	資	55．6.18～55.10.22		
			〃	資	55．6.27～55．7．2		
		昭和５５年度は第１年次調査の結果，有望地域として抽出された面積約750 km²に対し地質調査を行った。	〃	資	55．7.22～55．8.12		
			〃	資	55．9.10～55.10．5		
		昭和５６年度は，サンクレメンテ地区（地質調査，地化学探査），プロビデンシア地区（地質調査，地化学探査，物理探査），エルテホコテ地区（地質調査，地化学探査，物理探査）において調査した。	〃	資	55.11．5～55.11.12		
			56	資	56．5.18～56．5.29	11	95,069
			〃	資	56．7.15～56.10.30		
			〃	資	56．9.16～56.11.11		
			〃	資	56.10．2～56.10.11		

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
ごま栽培開発協力	メキシコ国ハリス，ミチコアカン，ゲレーロの３州は農業的には畑作地帯でごま栽培に適している。	54	開発基礎一次調査	54．8.13～54．9.1	8	7,802
	この３州におけるごま栽培の開発の可能性を探るため，自然，社会，経済条件の調査ならびに現地踏査を行い，開発適地の概定ならびに投資環境の調査を	55		（国内旅費）		45

メキシコ

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
	行った。					
バニラ果栽培開発協力	メキシコ政府は換金作物の振興による農家経営の安定の見地から，バニラ果の生産の増大を計画しているが，バニラ果は他作物耕種と比べて高度の栽培，醗酵および管理技術が必要でメキシコでは大規模な生産地を形成するにいたっていない。 本件はメキシコ国ベラクルス州パパトラン地方において，バニラ果栽培の開発協力事業の事業計画，栽培計画，資金計画等の基本計画の策定ならびに経済協力効果の測定を行うものである。	54		55．2.18～55．3．5	6	4,756
		55		（報告書作成）	0	194

投融資審査等調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
ヴェネズエラ，メキシコ投融資審査等調査	（ヴェネズエラ，メキシコ） 中南米一般参照のこと。	55	投融資審査等調査	56．1.17～56．2．4	(4)	(2,236)